SONY

インフォメーションナビシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Voice Drive

naviken S　VICS™　GPiex

NVX-W900

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. **安全な場所に車を止める**
2. **電源を切る**
3. **お買い上げ店または ソニーサービス窓口に 修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

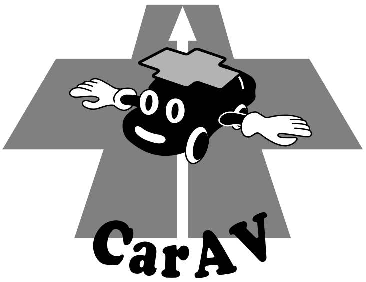
⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号





正しい取付け
正しい操作で
安全運転

目 次

⚠警告



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない



前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

分解や改造をしない

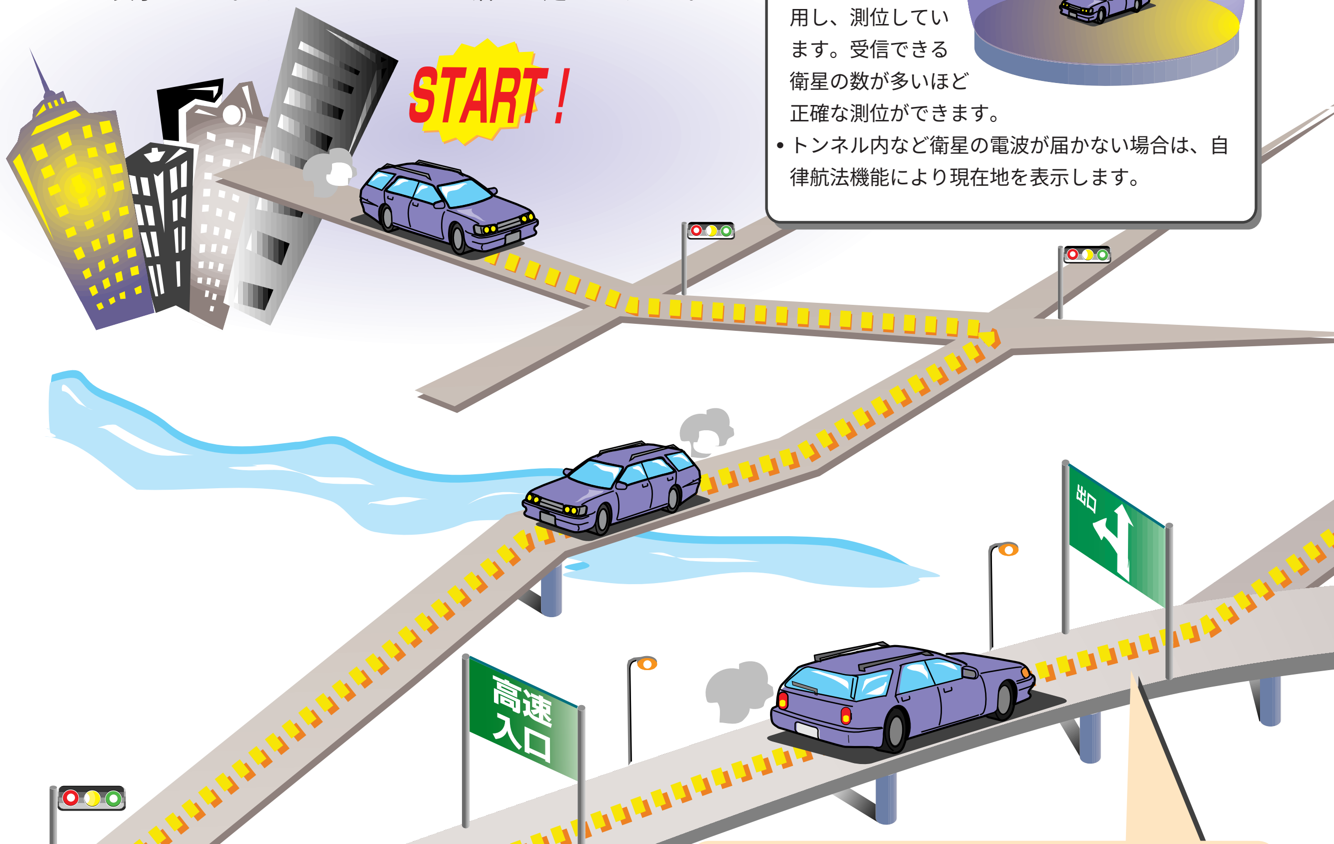


火災や感電、事故の原因となることがあります。

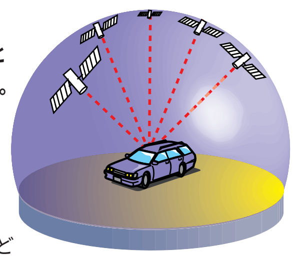
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

道案内（ルートガイド）の概要

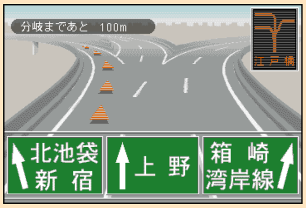
あなたが決めた目的地に向かって、参考ルート（道順）を画面に表示します。あとはそのルートに沿って走るだけです。



現在地は
GPS衛星からの電波と自律航法で分かります。



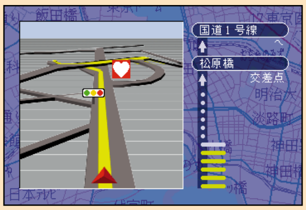
- 通常はGPS衛星3個以上の電波を利用し、測位しています。受信できる衛星の数が多いほど正確な測位ができます。
- トンネル内など衛星の電波が届かない場合は、自律航法機能により現在地を表示します。





高速道路の分岐点/出口では
詳細図を表示し、進行方向をお知らせします。（ジャンクション/ランプガイド機能：付属の地図ディスク使用時のみ）

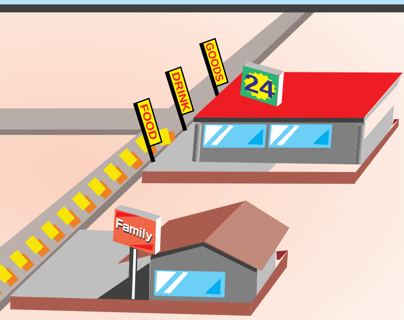
交差点では
音声と矢印、交差点拡大表示で曲がる方向をお知らせします。
地図上には、参考ルートが破線で表示されます。



道を間違えても
現在地は一目瞭然。しかも、もとの参考ルートへ戻るルートを表示します。



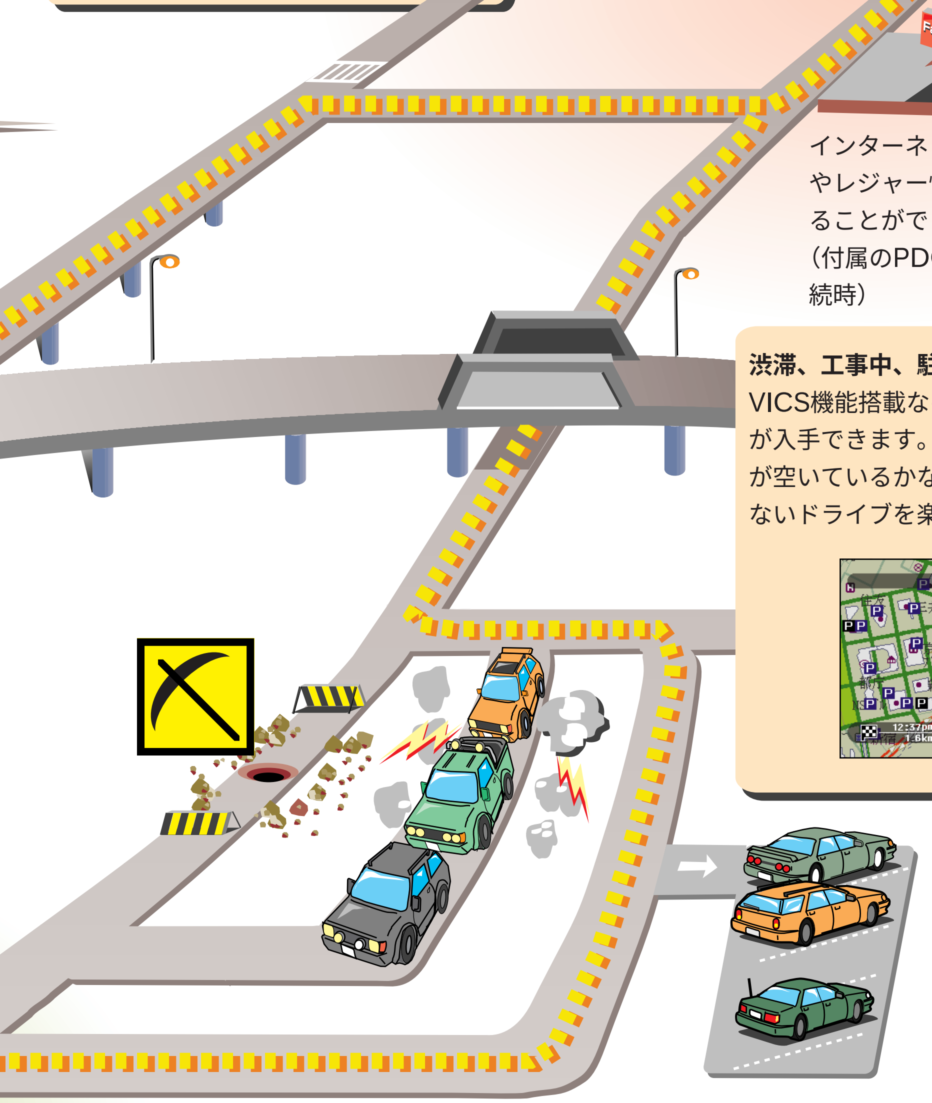
ドライブ中に買い物や食事などが必要になったら
最寄りのコンビニエンスストアやレストランを調べることができます。目的に応じてカーショップ、ファーストフードなど16項目があります。（最寄り表示機能：項目は地図ディスクにより異なります）



インターネットから最新のドライブ情報やレジャー情報、デートスポットを調べることができます。
（付属のPDCインターネットユニット接続時）

渋滞、工事中、駐車場の混雑などは
VICS機能搭載なので、リアルタイムの情報が入手できます。渋滞情報や、どこの駐車場が空いているかなどを事前に調べて、無駄のないドライブを楽しむことができます。





ご注意
- 操作について詳しくは、「道案内をさせる」（10～13ページ）をご覧ください。
- 本機の機能をお使いになるには、各機能に対応した地図ディスクが必要です。詳しくは、「ルートガイド中の便利な機能」（28～30ページ）をご覧ください。

現在地を知る



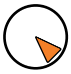
「自車マーク」が現在地を示します

本機は現在地と進行方向を自車マークとして表示します。GPS衛星の受信状態および内蔵の自律センサーの動作状態によって、自車マークは以下の3種類が表示されます。受信や誤差について詳しくは71ページをご覧ください。



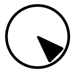
正常に測位を行っている

3個以上の衛星の電波を受信している、または3個以上の衛星の電波を受信し、自律センサーも働いています。



自律センサーだけで測位している

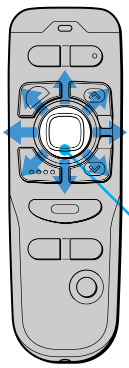
電波を受信できない状態で、自律航法を行っています。



測位できない

電波を受信できず、自律センサーも働いていない状態です。





カーソル/決定ボタンを押すと、地図が動きます

車を走らせると、自車マークとともに地図の表示も自動的に変化（スクロール）します。
また、リモコンのカーソルボタンを一段押すと、地図の表示範囲を任意に変えることができます。さらに深く押すとスクロールの速度を速くすることができます。（2段階スクロール）

カーソルボタンを上向きに押すと..



地図の表示範囲が変わり、前方に国道20号線があるのがわかる



カーソルボタンで地図を動かした後は、現在地ボタンで元の地図に戻してください。

操作のしかた

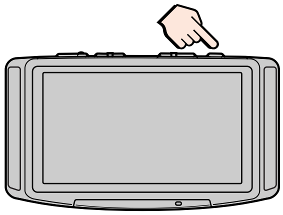
ご注意

電源は、車のキーがACCまたはONの位置で入ります。

取り付けと接続はお済みですか？（別冊の「取り付けと接続」参照）

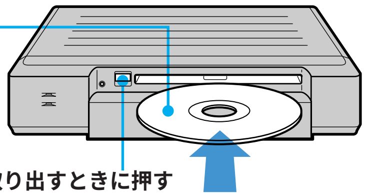
1 別売りのモービルカラーTV（XTL-770W）の電源を入れる

電源が入り、初期画面が表示されます。



2 地図ディスクを入れる

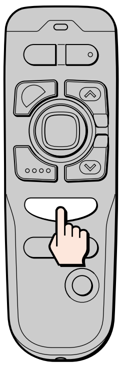
ディスクを軽く押すと自動的に引き込まれます。



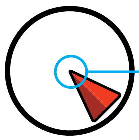
ディスク情報画面が表示されたあと、自動的に地図画面になります。

3 現在地ボタンを押す

地図上に現在地を示す自車マークが表示されます。







電源を切るには

車のキーの位置をOFFにします。

音声でも操作できます

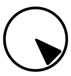
音声入力ボタンを押しながら、発話してください。

「現在地」

「ここどこ」

ご注意

- 受信状態によっては、自車マークを表示するまでに約20分ほどかかることがあります。また、以下の場合は自車の進行方向が検出できず、自車マークの表示が下図のようになることがあります。
  ー本機を初めて使うとき
  ーリセットボタンを押したとき



- マップマッチングが働いていないと、"詳細地図"上で自車位置が動かず、現在地を示さないことがあります。マップマッチングの動作確認は「自律航法機能の動作を確認する」（49ページ）をご覧ください。

道案内(ルートガイド)をさせる

目的地への道順は破線で、曲がる方向を音声と矢印で示します

あなたが決めた目的地への道順（ルート）を黄色（有料道路は緑、細街路はピンク）の破線で表示し、このルートに沿って音声と矢印で道案内をします。また、交差点が近づくと画面全体に交差点を拡大表示し、曲がる方向をお知らせします。

交差点拡大表示は

交差点への進入方向がいつも画面の上側になるように、交差点が表示されます。

交差点名／走行道路名
交差点名／走行道路名は、ルートガイドを行わないときでも表示することができます。

交差点位置



* ディスクに名前が収録されていない交差点名は案内されません。

方位表示

「目的地」「経由地」までの距離と到着予想時刻を表示

ルート（道順）は破線で表示

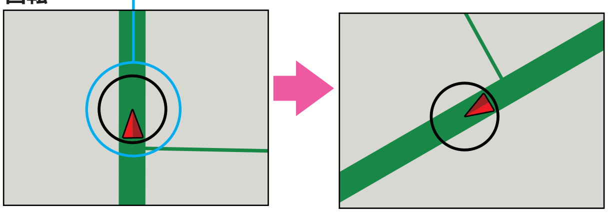
地図の回転を固定することができます

通常は、自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、地図画面が自動的に回転します。画面の動きを北を上に固定したいときは、カーソル/決定ボタンを押して、「ノースアップ」を選択します。（19ページ）

音声でも操作できます
音声入力ボタンを押しながら、発話してください。
「ノースアップ」
「ヘディングアップ」

進行方向が画面の上側になるように、自動的に地図が回転

「ノースアップ」では地図の上が北に固定されます



もう一度カーソル/決定ボタンを押して「ヘディングアップ」を選ぶと、自動回転に戻ります

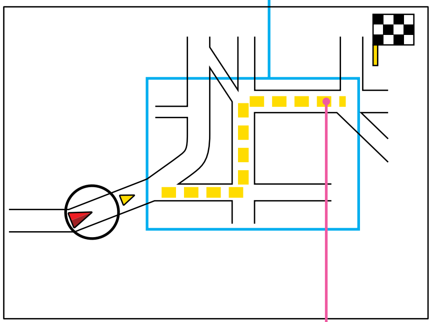
道案内（ルートガイド）の流れ

道案内が始まったら

ルートの表示は現在の自車位置から始まります。

ルートに乗ってからは

目的地に向かって、音声、矢印と交差点拡大表示で曲がる方向を案内するルートガイドが行われます。音声の案内について詳しくは「音声ガイド一覧」（28ページ）をご覧ください。

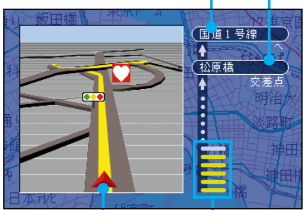


出発地／目的地付近は細街路も案内します。

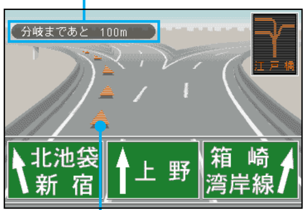
ルートから外れても

ルートガイド中に自車がルートから大きく外れると、その場所から目的地に向かうルートを探して表示します。ただし、自車がルート探索対象外の道路を走行している場合は、ルート探索対象道路に出た時点から復帰ルートを探索します。（リルート機能、29ページ）

交差点拡大画面



高速道路の分岐点拡大画面



目的地に到着すると

音声によりルートガイドの終了をお知らせします。

高速道路では

ジャンクション／ランプガイド機能により、高速道路の分岐点／出口の詳細図と進行方向を表示します。（ジャンクション／ランプガイド機能、30ページ）

次のページへつづく

「道案内をさせる」つづき

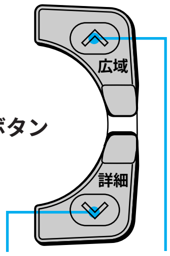
操作のしかた

ちょっと一言

目的地が遠いときは

おおよその場所を広域な地図で選び、そのあとに詳細な地図で目的地を探すと、早く設定することができます。縮尺を変えるにはズームボタンを使います。
2秒以上押し続けるとフリーズームになります。

ズームボタン



詳細な地図に　広域な地図に

音声でも操作できます

音声入力ボタンを押しながら、発話してください。
「広域」「詳細」

さらに詳細／広域地図があるとき

縮尺表示部に▲（広域）、▼（詳細）マークが出ます。
〝詳細地図〟に対応したナビ研S規格の地図ディスク（市販）をお使いになると、さらに詳細な地図をご覧になれます。 なお、本機に付属されているディスクに〝詳細地図〟は収録されていません。
縮尺表示部に▼マークが出ていたら、ひとつ下の縮尺に〝詳細地図〟があります。

ご注意

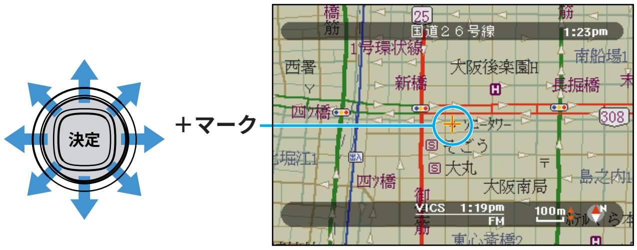
- 車速パルスを接続していない状態では、ルートガイドを実行しません。（49ページ）
- 〝詳細地図〟を表示中に車を走行させると、安全のため広域地図に自動変更されます。

音声でも操作できます

音声入力ボタンを押しながら、発話してください。
「目的地設定」
「ルート探索」
「ここに行く」

- ルートを表示するには自動経路探索対応のナビ研S規格のディスクをお使いください。
- 目的地の設定は、地図を北上に固定すると行いやすいです。

1 地図画面上で目的地に設定したい位置に＋マークを移動する



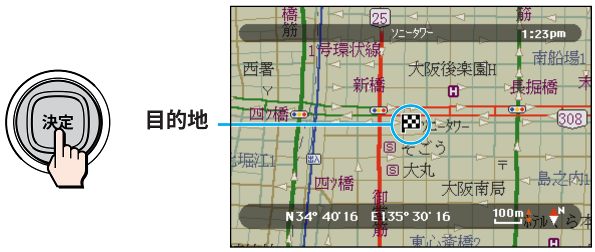
2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



3 カーソル/決定ボタンを動かして「目的地設定」を選択し、もう1度カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、自動的に自車位置から目的地までのルートを探索し、ルートガイドを始めます。



ルート探索開始

ちょっと一言

探索条件を変えるには

ルート探索中に「ルート」ボタンを押します。詳しくは、「探索条件を変更する」(27ページ)をご覧ください。

⚠警告

本機の道案内を使用して運転をする場合でも、実際の交通法規(一方通行、進入禁止など)を必ず守ってください。

音声でも操作できます

音声入力ボタンを押しながら、発話してください。

「ルートガイド終了」

探索が終わると、破線で参考ルートが表示されます。音声と表示で道案内の開始をお知らせします。

探索終了後、地図画面はルート全体を見ることのできる縮尺に一時的に変更され、元の縮尺に戻って道案内を開始します。



道案内が始まります

ご注意

次のようなときは、正しくルートガイドされない場合があります。

- マップマッチングが働いていないとき
- 車速センサーなどが取り付けられていないときなど

詳しくは、「自律航法機能の動作を確認する」(49ページ)をご覧ください。

道案内を終わらせるには

「ルートガイドを終了または再開する」(27ページ)をご覧ください。

音声で操作する

地図を検索する

地図画面のときに音声で場所を指定し、そこの地図を検索、表示させることができます。例えば、地名や住所、電話番号を指定すると、該当する地域の地図を表示します。また、観光名所の名前や駅名、ホテル名などを指定し、その周辺の地図を表示させることができます。

ご注意

- メニュー画面やテレビ、ビデオを見ているときは、音声で操作することはできません。
- 交差点拡大図やジャンクションガイド表示中は、音声で操作することができます。ただし、音声操作を始めると地図画面に戻ります。VICSのポップアップ画面表示中は、音声で操作することはできません。
- 発話するときはマイクのレベル表示ランプが点灯する声量で話してください。

例：「住所」辞書から東京都千代田区を検索するとき

1 **音声入力ボタンを押したままにして、マイクアイコンを表示する**

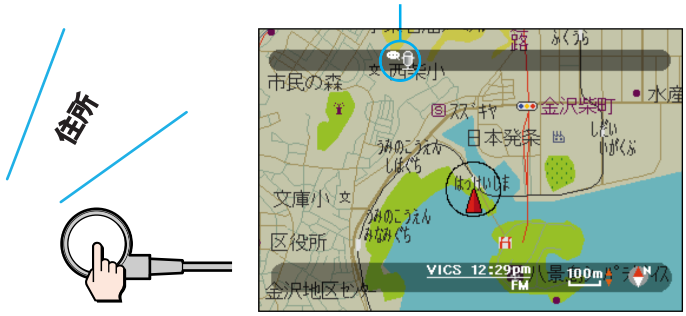
マイクアイコンが表示され、音声を受け付ける状態になります。



2 **音声入力ボタンを押したまま、辞書名を発話する**

例では、「住所」と発話します。

マイクアイコンは認識中アイコンに変わります。



辞書の種類（各発話について、詳しくは61ページをご覧ください。）

住所	都道府県、市区町村、さらに大字町名で該当地域の地図を検索します。（62ページ）
レジャーポイント	観光名所や遊園地、動物園、美術館などの名称で、その場所の地図を検索します。（62ページ） 例）東京ドーム、横浜ランドマークタワー
JR	JRの駅名で、その周辺の地図を検索します。（62ページ）例）品川駅
私鉄/地下鉄	私鉄、地下鉄の駅名で、その周辺の地図を検索します。（63ページ） 例）自由が丘駅
高速道路	高速道路のインターチェンジやサービスエリア、パーキングエリア、ランプ名、ジャンクション名などで、そこの地図を検索します。（63ページ）例）海老名サービスエリア

ゴルフ場	ゴルフ場の名称で、そこの地図を検索します。（63ページ）
スキー場	スキー場の名称で、そこの地図を検索します。（63ページ）
温泉地	温泉の名称で、そこの地図を検索します。（63ページ）
宿泊施設	旅館やホテルの名称で、そこの地図を検索します。（63ページ）
病院	病院の名称で、そこの地図を検索します。（64ページ）
警察署	警察署の名称で、そこの地図を検索します。（64ページ）
電話番号	電話番号で、そこの地図を検索します。（65ページ）
（音声コマンド）	本機を操作するときに選びます。（66ページ） 通常は、この辞書を選ぶ必要はありません。

本機が認識した地名や場所の名前が、発話したものと異なるときは

音声入力ボタンを２回以上続けて押します（ダブルクリック）。操作する前の状態に戻ります。

ご注意

ダブルクリックによる、誤認識の訂正は、操作する前の状態に戻れない場合もあります。特に次の場合、前の状態に戻れません。

- 認識した結果の返答後、リモコンで地図スクロールをしたり、メニュー操作をしたとき
- 電話番号を発話して検索、通話するとき
- 誤認識によってルート探索が開始され、ルート探索が終了してしまったとき
- 電話をとる、電話をかける操作のとき
- 「こんにちは」など、画面に変化がなく、音声のみが返答するとき

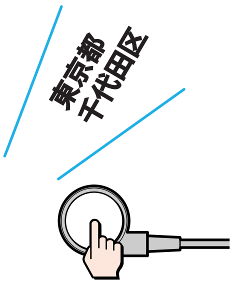
3 **認識結果が画面に表示されます。**

例では、「住所」と表示されます。



4 **もう1度音声入力ボタンを押したまま、検索したい地名や場所の名前を発話し、すぐに指を離す。**

例では、「東京都千代田区」と発話します。
本機が認識した地名や住所などを音声で知らせ、地図が表示されます。（61ページ）





本機を操作する

発話によって一部の機能を操作することができます。この取扱説明書では、音声で操作できる項目にはマークをつけて、発話例を紹介しています。

誤認識が多いときは

「正確に認識させるために」（70ページ）をご覧ください。

発話有効時間について

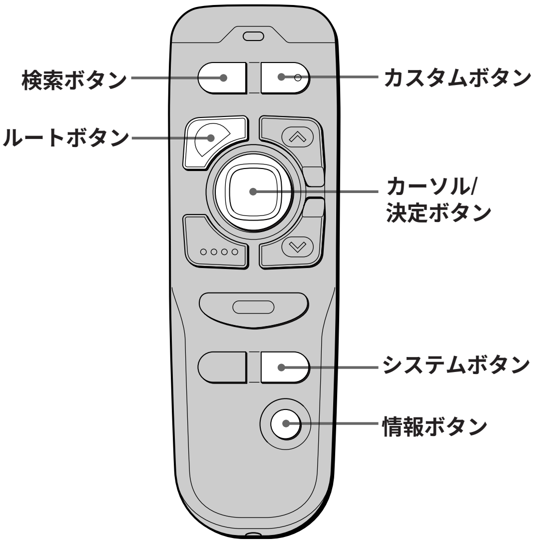
音声入力ボタンを押したまま10秒以上経つと、本機は音声認識を終了し、10秒間経った時点の認識結果を表示します。そのため、次のようなケースでは、音声が正しく認識されません。

- 音声入力ボタンを押したまま発話内容を考えこみ、10秒以上経過した。
- 音声入力ボタンが座席で押されたままになっていた。
- 発話しているうちに、10秒以上経過した。

メニューの選びかた

本機のメニューには、次の6種類があります。

- 決定メニュー（決定ボタンを押す）
- ルートメニュー（ルートボタンを押す）
- 検索メニュー（検索ボタンを押す）
- 情報メニュー（情報ボタンを押す）
- システムメニュー（システムボタンを押す）
- カスタムメニュー（カスタムボタンを押す）



ちょっと一言

現在地ボタンを押すと、メニュー画面から地図画面へ簡単に戻れます。

地図画面で各々のメニューボタンを2秒以上押すと、前回選んだメニューが表示されます。ただし、決定メニューとカスタムメニューでは前回選んだメニューは表示されません。

メニューを選ぶ

メニューの選びかたは、リモコンの各ボタンを押すだけです。
例えば、決定メニューを表示するには、カーソル/決定ボタンを押します。

1 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニュー項目が表示されます。



2 カーソル/決定ボタンを上下に押して、必要な項目を選ぶ



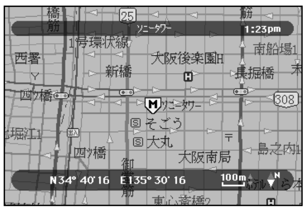
3 カーソル/決定ボタンを押す

サブメニューがある項目では

右側に選択項目が表示されます。カーソル／決定ボタンを右に押して、画面を切り換えることができます。

専用の設定画面がある項目では

設定画面に切り換わります。



4 サブメニュー（または設定画面）の必要な項目を選んで、カーソル/決定ボタンを押す

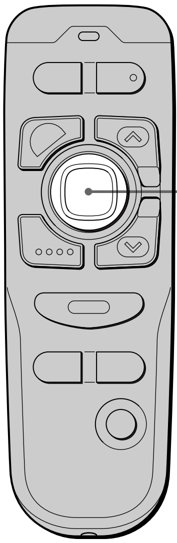
設定後、地図画面に戻ります。

設定を中止してメニュー画面に戻るには

「戻る」ボタンを押します。

地図画面から操作する（決定メニュー）

現在表示している地図画面上で目的地を設定したり、マークをつけておくなどの操作を行います。
決定ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。



音声で操作できます
地図画面のときに発話します。
「目的地設定」
「ルート探索」
「ここに行く」

ご注意
マップマッチングが働いていないときや、ナビ研S規格以外の地図ディスクを使っているときは、シンプルガイド機能で道案内をします。詳しくは、「シンプルガイド機能」（29ページ）をご覧ください。

決定メニュー

目的地を設定してルートガイドを行う

地図画面上でカーソル（＋マーク）を移動して目的地を探し、カーソル位置を目的地に設定すると、自動的に目的地までのルート探索を行い、ルートガイドを始めます。

1 地図画面上で目的地に設定したい位置にカーソル（＋マーク）を移動する

2 カーソル/決定ボタンを押す
決定メニューが表示されます。



3 「目的地設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
カーソル位置が目的地に設定され、自動的にルートガイドが始まります。



（全ルート表示）



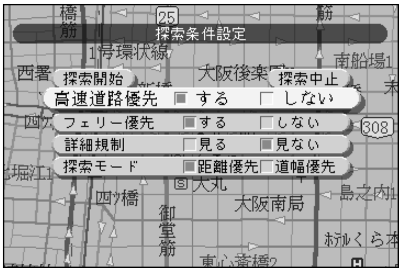
ルートガイド開始

探索条件を変えるには

ルート探索中にルートボタンを押すと、探索動作を中止し、探索条件設定画面が表示されます。
現在設定されている条件を変更する場合は、改めて変更した条件でルート探索を開始します。

1 ルート探索動作中に、ルートボタンを押す

ルート探索条件設定画面になります。



設定を変更するには

カーソル/決定ボタンの上下を押して項目を選び、左右を押して設定を切り換えます。

高速道路優先：高速道路を優先するときは「する」に設定します。「しない」に設定すると、一般道を優先します。

フェリー優先：フェリーを使うときは「する」に、使わないときは「しない」に設定します。（フェリー優先に設定しても、フェリーを使わない場合があります。）

詳細規制：地図ディスクに含まれる詳細規制情報（時間、曜日、季節などによる規制情報）を反映するかどうかを選択します。ただし、反映された結果は時間、曜日、季節などに関係なく常に規制に対応しています。

探索モード：「距離優先」（最短距離のルート）または「道幅優先」（道幅を考慮した走りやすいルート）を選択します。

別売りビーコンユニット接続時には、次の項目が表示されます。

VICS使用：「する」に設定すると、VICS情報を探索条件に加えます。「しない」に設定すると、探索モードは「距離優先」／「道幅優先」になります。

探索モード：「渋滞回避」または「推奨経路」（VICS対象道路の空いている道を優先して探索）を選択します。（29ページ参照）

2 「探索開始」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

探索を中止するには

「探索中止」を選択して、カーソル/決定ボタンを押します。

ご注意

- 次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されます。
  - ―自動経路探索機能に対応したナビ研S規格の地図ディスクを使用していない。
  - ―目的地が遠すぎる。
  - ―目的地がディスクの自動経路探索機能のデータ範囲外にある。
- マップマッチングが働いていないときや、ナビ研S規格以外の地図ディスクが使われているときは、ルート設定した各地点までの直線距離と方向を順番に表示して道案内します。（シンプルガイド機能：29ページ参照）

地図ディスクの経路探索データについて

基本的には道幅5.5m以下の細い道路に対するデータは含まれていません（道幅5.5m以上であっても住宅地や商店街を通りぬける道路に対するデータは含まれていません）。
また、一方通行や右/左折禁止の規制やフェリー航路のデータは入っていますが、次のようなデータは含まれていない場合があります。
例：

- 最新の規制
- 道路工事による通行止めや進入禁止
- 就航数の少ないフェリー航路

詳しくは地図ディスク製作会社にお問い合わせください。

ルートについて

ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。出発地/経由地/目的地がこの道路上にない場合は、その周辺にある経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ探索されます。
そのため、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に設定すると、すぐ近くまではルートが表示されない場合があります。
さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

マークをつける

音声で操作できます
「マーク設定」「マーク」「マークをつける」

ドライブ中に見つけたレストラン、景色のよかった場所、友人の家など覚えておきたい場所を、地図にマークをつけて登録できます。(250か所までマークをつけることができます。)

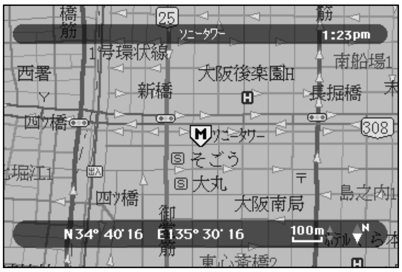
- マークを付けた場所は、後から検索メニューのマークリストから呼び出したり、シンボルを変えるなどの編集ができます。
- マークをつけた場所は、地図ディスクを入れ換えても、そのまま表示されます。

1 **マークをつける場所を探し、カーソル（+マーク）を合わせる**

2 **カーソル/決定ボタンを押す**
決定メニューが表示されます。



3 **「マーク設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
+マークの中心にⓂマークがつきます。



マークをつけた地点はマークリストに自動的に登録されます。

ちょっと一言
マーク編集については、「マークの名前などを変える」(42ページ) をご覧ください。

地図画面を回転させる

音声で操作できます
「ノースアップ」「ヘディングアップ」

地図画面表示は、次のどちらかに設定できます。

- ノースアップ（常に北を上に固定する）
- ヘディングアップ（自車の進行方向が常に上になるように回転させる）

1 **カーソル/決定ボタンを押す**
決定メニューが表示されます。



2 **「ノースアップ」または「ヘディングアップ」を選ぶ**



3 **設定を切り換えるときは、カーソル/決定ボタンを押す**
設定を変えないときは
「戻る」ボタンを押す。

最寄りのコンビニエンスストアなどへの道案内をさせる

音声で操作できます

「最寄りのコンビニ」→「目的地設定」

「近くのコンビニ」→「目的地設定」

ドライブ中に、近くのコンビニエンスストアやレストランなどに立ち寄りたくなったとき、最寄りデータを地図画面上に表示させて、目的の場所にルートガイドさせることができます。

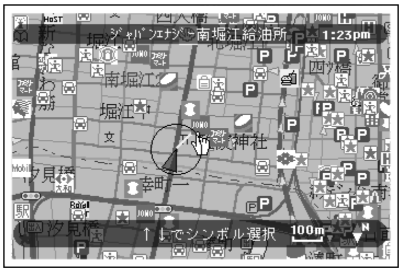
1 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



2 「最寄り検索」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図ディスクに記録されているすべての種類の最寄りデータのマークが表示されます。

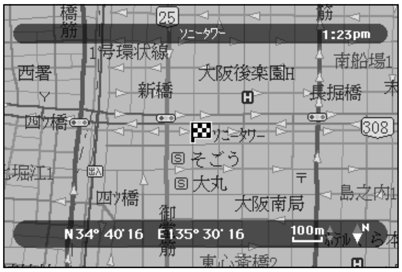


最も近い最寄りマークが選択され（指マーク）、中央になるように地図画面が切り換わります。（自車マークからの方向が直線で表示されます。）

3 他のシンボルを選ぶには、カーソル/決定ボタンを上下に押す（または広域/詳細ボタンを押す）

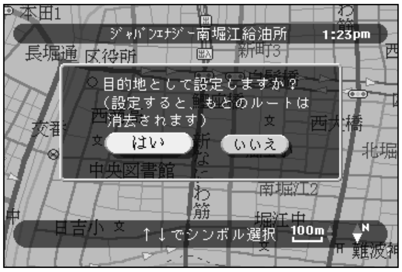
4 カーソル/決定ボタンを押す

選択された最寄りマーク位置が目的地に設定され、全ルートを表示したあと、ルートガイドが始まります。



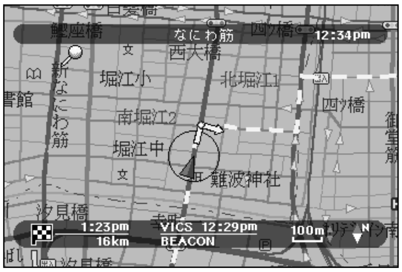
ルートガイド中に決定ボタンを押すと

次のような確認画面が表示されます。



「はい」を選択すると：現在のルートガイドを中止し、最寄り地点へのルートガイドになります。

「いいえ」を選択すると：現在のルートガイドを継続し、最寄りポイントにピンマークが表示されます。



ご注意

- 決定メニューからの最寄り検索は、付属の地図ディスク使用時のみ実行できます。
- 最寄り設定画面は、200mスケール以上のときは自動的に200mスケールに固定されます。200m以下のスケールのときは、そのスケールのままになります。地図の拡大、縮小、スクロールはできません。また、詳細地図が表示された状態で最寄り検索を行った場合、通常の地図の最詳細スケールに変更されます。
- 200mスケールに収まらない最寄りポイントが選択された場合、自車マークが画面の外になる場合があります。
- 最寄り地点へのルートガイドを行うと、前のルートは消去されます。

主な情報を見る

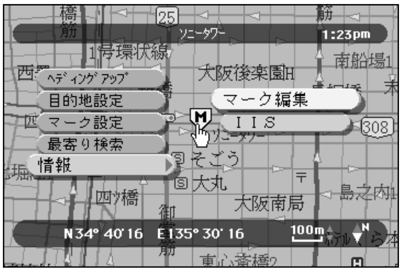
地図画面上でカーソル（＋マーク）を重ねたとき、指マークが表示される場所には、IIS情報やマークなどの情報があります。
指マーク表示状態でカーソル/決定ボタンを押すと、マーク位置の情報を見ることができます。

1 **地図画面上で、カーソル（＋）を指マークに変わる位置に移動する**

2 **カーソル/決定ボタンを押す**
決定メニューが表示されます。



3 **「情報」（または項目名）を選択する**



サブメニューには、次の4項目のうち該当する項目が表示されます。（1種類の場合は、メインメニューに表示されます。）

マーク編集：「マークをつける」（19ページ）でマークした地点です。

インフォレイヤ：地図ディスクに記録された文字情報を表示します。

IIS：地図ディスクに記録されたIIS情報を表示します。

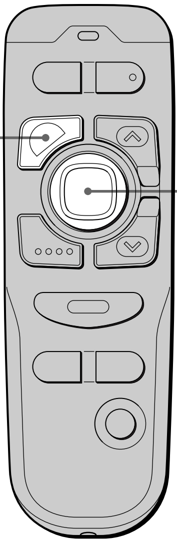
VICS：VICSの文字情報を表示します。

4 **カーソル/決定ボタンを押して（または右に押して）サブメニューに移り、表示したい項目を選択してカーソル/決定ボタンを押す**

ちょっと一言
「マーク編集画面」については、システムメニューの「マークの名前を変更する」（43ページ）をご覧ください。

ルートガイドを使いこなす（ルートメニュー）

待ち合わせ場所などを「出発地」にして、途中で立ち寄りたい場所を「経由地」に設定しておくと、計画に沿ったルートでドライブを楽しむことができます。
ルートボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。



ご注意

次のようなときはエラーメッセージが表示され、自動ルート探索できないことがあります。
ー 経由地を細街路の行き止まりなどに設定した。
ー 目的地を出発地に近い場所に設定した。

出発地や経由地を任意に設定してルートを探す

「ルート設定」を選択すると、出発地、経由地、目的地を順に設定して、新規ルートを作成することができます。経由地は10か所まで設定できます。設定されたルートは15ルートまで保存されます。

自車位置から目的地を設定してルートを探す

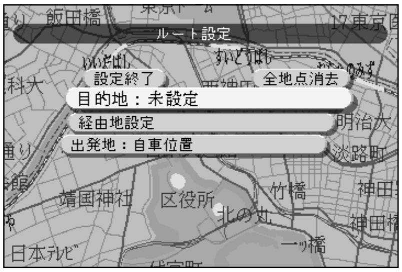
1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。



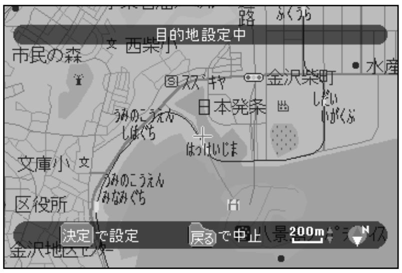
2 「ルート設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「ルート設定」画面が表示されます。



3 「目的地」を選び、決定ボタンを押す

カーソルボタンで、＋マークを「目的地」に合わせる。



見たい場所をより早く探すには

ここで検索メニュー（31〜37ページ）を使うと便利です。なお、自宅を「目的地」とするときは、マーク編集で自宅を登録しておいてください。（45ページ）

4 カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。



目的地が設定されたあと、「ルート設定」画面に戻ります。

5 「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図画面に戻り、ルート探索が開始されます。



⇩

一時的にルート全体を表示する画面が表示され、ルートガイドが始まります。

ルートガイドを中止するには

ルートメニューで「ガイド終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押します。

ちょっと一言

- 出発地、経由地、目的地は、どの順序でも設定できます。
- 複数の経由地を設定した場合は、経由地1、経由地2、経由地3の順にルート探索を行います。
- すべての経由地を設定する必要はありません。

経由地を設定する

目的地までのルートを探すとき、経由したい地点がある場合は、経由地を設定します。（10か所まで）

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「ルート設定」画面が表示されます。

3 「経由地設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



4 「経由地1」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「経由地1」がすでに設定されている場合は、「消去しますか？」と確認画面が表示されます。「はい」を選択すると手順3に戻り、「いいえ」を選択すると、手順5に進みます。

5 カーソルボタンで、＋マークを「経由地1」に合わせる



ご注意

次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されることがあります。

ー経由地を細街路の行き止まりなどに設定する。

ー目的地を出発地に近いところに設定する。

次のページへつづく

6 カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが番号旗マークに変わり、「経由地1」が設定されます。



「経由地1」が設定されたあと、「経由地設定」画面（手順3）に戻ります。

見たい場所をより早く探すには

ここで検索メニュー（31〜37ページ）を使うと便利です。なお、自宅を「目的地」とするときは、マーク編集で自宅を登録しておいてください。（45ページ）

7 手順4〜6を行う

経由地は10地点まで設定できます。

8 経由地設定後に「戻る」ボタンを押す

出発点を自車以外に設定する

自車位置以外からのルートを設定するには、出発地を設定します。

1 ルートボタンを押す

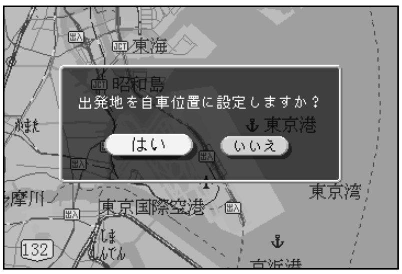
ルートメニューが表示されます。

2 「ルート設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「ルート設定」画面が表示されます。

3 「出発地」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

出発地が自車位置以外にすでに設定されている場合は、次のような確認画面が表示されます。



「はい」を選択：自車位置を出発地に設定。
「いいえ」を選択：手順4になります。

見たい場所をより早く探すには

ここで検索メニュー（31〜37ページ）を使うと便利です。なお、自宅を「目的地」とするときは、マーク編集で自宅を登録しておいてください。（45ページ）

4 カーソルボタンで、＋マークを出発地に合わせる

「出発地設定中」画面になります。

5 カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、出発地が設定されます。



出発地が設定されたあと、「ルート設定」画面に戻ります。

すべての地点データを消去する

これまで設定された出発地、経由地、目的地のデータをすべて消去することができます。

1 ルートボタンを押す

2 「ルート設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 「全地点消去」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

操作を確認する画面が表示されます。

「はい」を選択：全地点のデータを消去し、「ルート設定」画面に戻ります。
「いいえ」を選択：データを消去せず、「ルート設定」画面に戻ります。

保存したルートを呼び出す

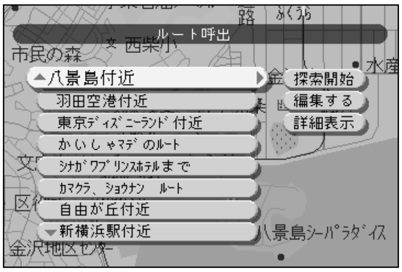
一度設定したルートは、15ルートまで保存されています。ルートを設定したときに毎回自動的に保存され、15ルート以上になると古い順に消去されます。消去したくないルートは「ルート編集」画面で保存指定を行ってください。また保存したルートを呼び出し、ルートの再探索、名称の変更、ルート情報表示の操作ができます。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート呼出」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

保存されているルート名（目的地の名称）がリスト表示されます。



3 呼び出したいルート名を選び、「探索開始」、「編集する」、「詳細表示」のいずれかを選択して、カーソル/決定ボタンを押す

「探索開始」：呼び出されたルートのデータを使って、自動ルート探索が始まります。

「編集する」：「ルート編集」画面になります。（右項参照）

「詳細表示」：ルート各地点のリスト表示画面になります。

ご注意

データ保存に使用した地図ディスクと異なるディスクを使ってルート探索を行うと、同じディスクで探索した場合より時間がかかることがあります。この場合、一度探索を行うと同じ所要時間になります。

ルートの名称などを変える（ルート編集）

保存したルートの名称を変更することができます。

1 ルートボタンを押す

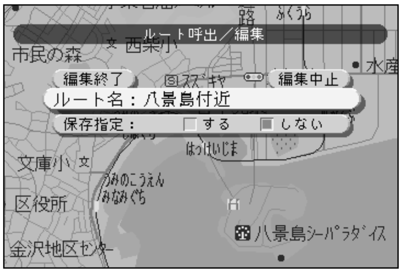
ルートメニューが表示されます。

2 「ルート呼出」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 呼び出したいルート名を選び、カーソル/決定ボタンを押す

4 「編集する」を選択して、カーソル/決定ボタンを押す

「ルート編集」画面になります。



各項目を選択してカーソル/決定ボタンを押すと、次のような操作ができます。

ルート名：ルート名を変更することができます。（全角10文字まで）

保存指定：古いルートを保存しておきたいときにチェックします。14ルートまで保存しておくことができます。

5 「編集終了」を選択し、カーソル/決定ボタンを押す

「ルート呼出」画面に戻ります。

ルート情報を表示する

現在設定されているルートの、以下の概略情報を表示します。

- ジャンクション、インターチェンジ名称
- フェリー乗り場
- 道路名称
- 出発地、経由地、目的地

1 ルートボタンを押す
ルートメニューが表示されます。

2 「ルート情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
出発地から目的地までの各ポイントの名称、道路の種類、道のり総距離、所要時間などが表示されます。



前後にデータがあるときは（▼/▲表示時）
カーソル/決定ボタンを上下に押します。

3 戻るボタンを押す
ルートメニューに戻ります。

ご注意

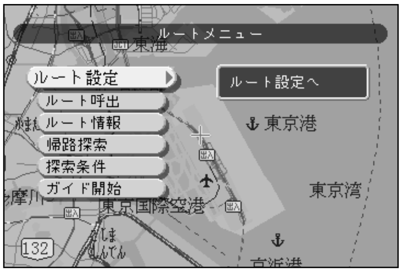
- 「ルート情報」項目は、ルートガイド中のみ表示されます。
- 次のときは地図画面に戻ります。
  ーリルートなどの再探索が行われたとき
  ー目的地に着いたとき

帰り道を案内させる（帰路探索）

音声で操作できます
「帰路探索」

目的地から出発地に帰るとき、往路で設定した地点のデータを逆にして帰り道のルート探索を行うことができます。

1 ルートボタンを押す
ルートメニューが表示されます。



2 「帰路探索」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
出発地と目的地、経由地1～10のデータが入れ替わり、自動ルート探索が始まります。

ご注意

自車位置を「出発地」としたときは、前回ルート探索を開始したときの自車位置が「目的地」になります。

探索条件を変更する

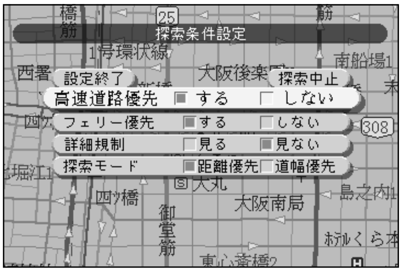
ルート探索時の探索条件を、変更することができます。設定された探索条件は、すべてのルート探索時に適応されます。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「探索条件」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「探索条件設定」画面になります。



設定を変更するには

カーソル/決定ボタンの上下を押して項目を選び、左右を押して設定を切り換えます。

高速道路優先：高速道路を優先するときは「する」に設定します。「しない」に設定すると、一般道を優先します。

フェリー優先：フェリーを使うときは「する」に、使わないときは「しない」に設定します。（フェリー優先に設定しても、フェリーを使わない場合があります。）

詳細規制：地図ディスクの詳細規制情報（時間、曜日、季節などによる規制情報）を反映するかどうかを選択します。ただし、反映された結果は時間、曜日、季節などに関係なく常に規制に対応しています。

探索モード：「距離優先」（最短距離のルート）または「道幅優先」（道幅を考慮した走りやすいルート）を選択します。

別売りビーコンユニット接続時のみ

VICS使用：「する」に設定すると、VICS情報を探索条件に加えます。「しない」に設定すると、探索モードは「距離優先」／「道幅優先」になります。

探索モード：「渋滞回避」または「推奨経路」（VICS対象道路の空いている道を優先して探索）を選択します。

3 「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

ルートメニューに戻ります。

ルートガイドを終了または再開する

ルートガイドを中止するには

1 ルートガイド中に、ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。



2 「ガイド終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

ルートガイドが終了します。

ルートガイドを再開するには

ルートボタンを押し、ルートメニューの「ガイド開始」を選んで、カーソル/決定ボタンを押します。

ご注意

目的地を設定していないときは、画面上の「探索開始」が「設定終了」になり、「探索中止」が「キャンセル」になります。

ルートガイド中の便利な機能

ルートガイドの種類

本機のルートガイドには、次のような種類があります。

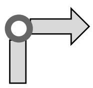
- **通常のルートガイド**
  決定メニューで目的地を設定して自動的に始まるガイド、またはルートメニューで出発地、経由地、目的地を設定し、「ガイド開始」を選択して実行するガイドです。
- **フルタイムルートガイド**
  ルートガイド中か否かに関わらず、常に自車周辺の交差点名称、ジャンクション/ランプガイドなどを行います。(システムメニューで設定)

ご注意

車速センサーコードなどの接続が正しく行われていないと交差点拡大表示や音声ガイド、リルートなどが正しく働きません。また、走行中の交差点名や道路名などは表示されません。

矢印ガイド

次に向かうガイドポイント上に進行方向が矢印で表示されます。



音声ガイド

次に向かうガイドポイント (経由地、交差点など) までの道のりなどをアラーム音 (◁) と音声で知らせます。
音声ガイドの主な項目は、以下のとおりです。

- **ルートガイド開始時/終了**
- **ガイドポイント事前案内**
  ガイドポイントまでの距離、種類(名称)、方向を案内します。
  方向の案内には
  「直進方向」、「右方向」、「ななめ右方向」、「大きく右方向」、「左方向」、「ななめ左方向」、「大きく左方向」「Uターン」の8種類があります。
- **ガイドポイント基本案内**
  ガイドポイントまでの距離、種類(名称)、方向、方面を案内します。
- **ガイドポイント目前案内**
  ガイドポイントが目前になったとき、種類(名称)と方向を案内します。
- **複合ガイドポイント案内**
- **注意情報(フルタイムルートガイド時)**
- **VICS情報(フルタイムルートガイド時)**
- **直線距離情報**
- **現在地の地名案内**
  現在地付近の名称を音声で案内します。
  現在地ボタンを2秒以上押します。

ご注意

地図の縮尺によっては、現在地の地名を音声ガイドできない場合があります。付属の地図ディスクの場合は〝詳細地図〟を除く50mおよび100mのスケールでご使用ください。

リルート機能

自車がルートから外れると、本機は自車位置から目的地までのルートの再探索を行い、自動的にルートを変更します。



ご注意

- 自車が自動ルート探索の対象でない道路を走行している場合はリルートされません。このときは、自動ルート探索の対象になる道路（国道など）に出れば、リルートを始めます。
- 次のようなときは、車を安全な所に停車させて、改めてルート設定の操作をしてください。
  - 「ルートへ戻る距離が遠いためリルートできません」と表示されたとき
  - ルートをはずれた位置から一定の距離の範囲内に経由地があるため、リルート後の参考ルートに経由地が含まれないとき

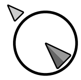
渋滞回避リルート機能

本機は、VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信し、ルート上に渋滞や道路規制などがあった場合、それらを回避するリルートを行います。リルートされたときは、「ルートが変わりました」と音声ガイドされます。（別売りVICSビーコンユニット接続時のみ）

シンプルガイド機能

マップマッチングが働いていないときや、ナビ研S規格以外の地図ディスクが使われているときは、ルート設定した各地点までの直線距離と方向を順番に表示して道案内します。

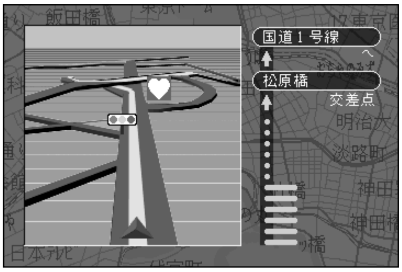
- シンプルガイド中は、次のような自車マークになります。



- シンプルガイド中は、交差点拡大機能やジャンクションガイド機能などは働きません。

交差点拡大機能

ガイドポイントに近づいたときに、交差点の拡大図が表示されます。
自車の進行方向が上になるように、交差点の詳細図と残距離が表示されます。



ジャンクション／ランプガイド機能

付属の地図ディスクを使うと、高速道路の分岐点／出口が近づいたときに分岐点の詳細図と進行方向と分岐点までの残距離が表示されます。



ご注意

ジャンクション／ランプガイド機能は、付属の地図ディスクを使用したときのみ働きます。

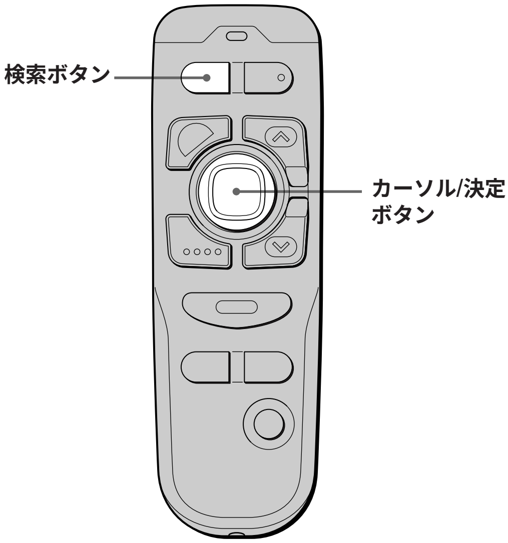
地図ディスクについてのご注意

- 本機はナビ研S規格専用機です。
- 付属の地図ディスクをお使いになると、ルートガイドや交差点拡大機能などを利用することができますが、地図ディスクの種類によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  ー「自動ルート探索機能」
  ー「ルートガイド機能」
  ー「交差点拡大表示」と「交差点名案内」
  ー「最寄り検索」
  ー「電話番号検索」
  ー「施設検索」
  ー「住所検索」
- 自動経路探索対応の地域別地図ディスクをお使いになるとき、経路データが収録されている地図エリアの端付近で自動ルート探索を行うと、目的地までのルートが見つからない場合があります。このような地域で自動ルート探索を行う場合は、自動経路探索対応の**全国版地図ディスク**をお使いください。
- マップマッチングは、マップマッチング用の道路データが収録された地図ディスクの場合のみ働きます。
- 使用する地図ディスクが対応している機能を知りたいときは、「地図ディスクの種類などを見る」(49ページ) をご覧ください。

地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

より早く目的地を探す
（検索メニュー）

目的地をより早く探すために、最寄りのコンビニエンスストアなどのリストや、電話番号、住所、施設名、緯度経度などを使って検索することができます。



最寄りのコンビニエンスストアなどを表示する

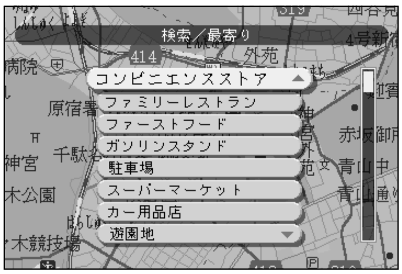
音声で操作できます
「最寄りのコンビニ（コンビニエンスストア）」
「近くのコンビニ（コンビニエンスストア）」

ドライブ中に最寄りのコンビニエンスストアやレストランなどを探すとき、探したい項目を指定してリストアップし、地図上に表示することができます。
リスト表示されるのは、場所によって異なりますが、自車位置または地図画面上のカーソル位置から最低半径2km以内にある指定項目です。最寄りの目的地が見つからないときは、場所を変えてもう一度操作してください。

1 **検索ボタンを押す**
検索メニューが表示されます。



2 **「最寄り」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
最寄り検索の項目が表示されます。



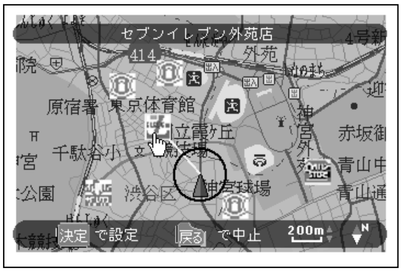
次のページへつづく

3 **検索したい項目を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

選択した項目のリスト（名称／方向／距離／シンボル）が、近い順に表示されます。



4 **地図を表示するには、項目を選んで決定ボタンを押す**



ご注意

- 選択できる項目は、お使いになる地図ディスクによって異なります。
- 項目リストにシンボルが表示されるのは、付属の地図ディスクのみです。

マークの位置を呼び出す

登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を呼び出すことができます。

- マークのつけかたは、決定メニューの「マークをつける」（19ページ）をご覧ください。
- マーク編集については、システムメニューの「マークの名前などを変える」（42ページ）をご覧ください。

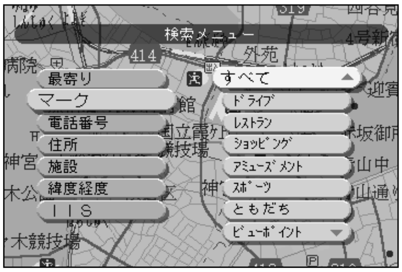
1 **検索ボタンを押す**

検索メニューが表示されます。



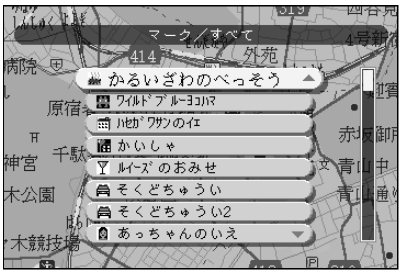
2 **「マーク」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

マークのジャンルと、マークリストが表示されます。



3 **表示したいジャンルを選び、カーソル/決定ボタンを押す**

4 **右側のリストから表示したいマーク名を選んで、カーソル/決定ボタンを押す**



電話番号で探す

音声で操作できます（65ページ）

電話番号を入力し、市外局番＋市内局番または全桁で、該当する地域の地図を表示できます。
付属の地図ディスク使用時のみの機能です。

1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。



2 「電話番号」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「電話番号検索」画面になります。



3 検索したい電話番号を入力する

カーソル/決定ボタンで数字キーを指定し、ボタンを押して1文字ずつ確定します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

入力したすべての文字を削除するには

「全削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

間違った数字を入力したときは

削除したい数字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、カーソル/決定ボタンを押すと数字が削除されます。

電話をかけるには

「通話」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。（付属のPDCインターネットユニット接続時）

4 画面上の「検索」キーを選び、カーソル/決定ボタンを押す

指定した電話番号の地域の地図画面になります。

住所で探す

音声で操作できます（62ページ）

都道府県名、市区町村名、大字町名を選択し、該当する地域の地図を表示できます。
付属の地図ディスク使用時のみの機能です。

1 検索ボタンを押す
検索メニューが表示されます。



2 「住所」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
「住所検索」画面になります。



3 カーソルを都道府県名の欄（2段目）に移動してカーソル/決定ボタンを押す



都道府県名は北から順に並んでいます。

4 カーソル/決定ボタンの上下を押して、呼び出したい都道府県名を選択し、再度ボタンを押す

5 さらにカーソルを3段目に移動して、カーソル/決定ボタンを押す
都道府県名に対応した市区町村名リストが表示されます。



6 カーソル/決定ボタンの上下を押して、呼び出したい市区町村名を選択し、再度ボタンを押す



都道府県、市区町村の選択だけで検索を実行することもできます。そのときは、手順8に進んでください。

7 大字/町名を指定するときは、カーソルを4段目に移動して、カーソル/決定ボタンを押し、呼び出したい大字町名を選択し、再度ボタンを押す



8 1段目の「検索」キーを指定して、カーソル/決定ボタンを押す
指定した住所の地域の地図画面になります。

施設名などから探す

宿泊施設、観光名所、駅など項目別の施設を、全国または都道府県別にリストアップし、地図画面に呼び出すことができます。付属の地図ディスク使用時のみの機能です。

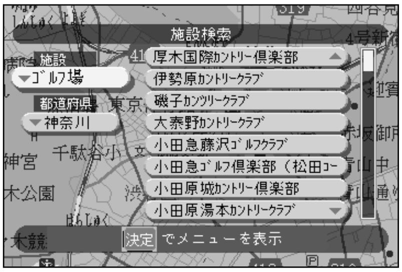
1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。



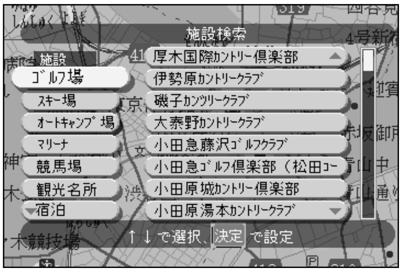
2 「施設」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「施設検索」画面になります。



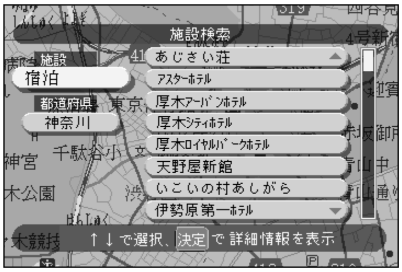
3 カーソルが施設欄にあることを確認して、カーソル/決定ボタンを押す

施設の項目が表示されます。



4 カーソルが施設欄にあることを確認し、カーソル/決定ボタンの上下を押して、呼び出したい項目を選択し、再度ボタンを押す

選択した項目の施設が右側に表示されます。



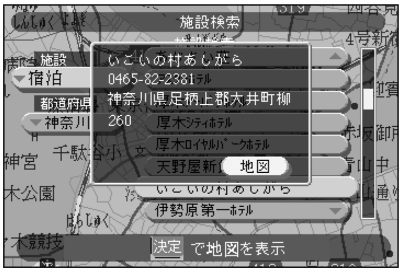
5 次にカーソルを都道府県欄に移動して、カーソル/決定ボタンを押す

都道府県名が表示されます。

6 カーソル/決定ボタンの上下を押して、呼び出したい都道府県名を選択し、再度ボタンを押す

7 カーソルを右に移動し、呼び出したい施設を選択してカーソル/決定ボタンを押す

指定した施設の紹介が表示されます。



8 カーソル/決定ボタンを押す

施設周辺の地図画面になります。

緯度経度から探す

緯度経度を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。
例えば、本機を取り付けている何台かの車でドライブするときに、目的地などの緯度/経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。



2 「緯度経度」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 「緯度」と「経度」を入力する

カーソル/決定ボタンで数字キーを指定し、ボタンを押して1文字ずつ確定します。



緯度→経度の順に入力します。

緯度欄にはN（北緯）またはS（南緯）、経度欄にはE（東経）またはW（西経）のみが入力できます。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

4 「検索」キーを選び、カーソル/決定キーを押す

指定した緯度/経度の地図画面が表示されます。

ご注意

実際に存在しない緯度/経度の数値を入力することはできません。例えば、分、秒の入力範囲は00から59までです。

地名などから探す

検索メニューの「IIS」を選択すると、地図ディスクのIIS (Integrated Information Services：ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラム)の検索メニュー画面を直接表示させることができます。

1 検索ボタンを押す
検索メニューが表示されます。

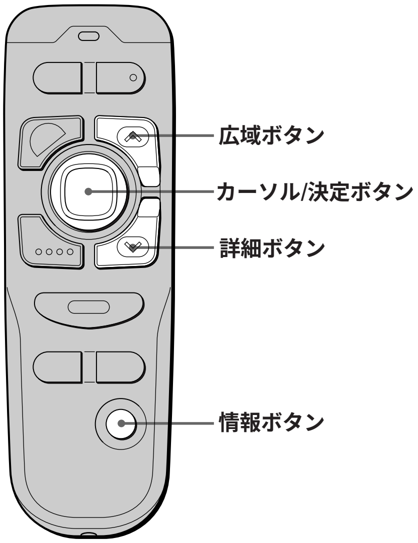
2 「IIS」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
IIS機能の検索メニュー画面になります。
お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

IISを終了するには
現在地ボタンを押します。

ご注意
ディスクによってはIISが検索機能に対応していないものがあります。その場合は、IISのオープニング画面が表示されます。付属の地図ディスクには、IIS情報は収録されていません。

いろいろな情報を見る（情報メニュー）

本機はVICSユニット内蔵のため、VICSセンターがNHKのFM多重放送の設備を使って提供する交通情報や、FM文字多重放送などを見ることができます。

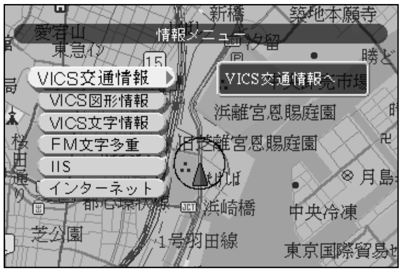


VICS交通情報を見る

まず、受信可能なVICS局を受信します。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。



2 「VICS交通情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

VICS交通情報の目次画面になります。



1 受信状態表示
現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。



2 番組番号ボタン
画面上に表示されている番組目次の番号に対応しています。

3 ページ送りマーク
前後にページがあるとき表示されます。
ページ送りは、リモコンの広域／詳細ボタンで行います。

次のページへつづく

3 表示したい番組番号を選び、カーソル/決定ボタンを押す



1 受信状態表示
現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

2 番組番号ボタン
さらに番組目次があるとき、その番号に対応しています。

3 ページ送りマーク
前後にページがあるとき表示されます。

前後のページに移動するには、リモコンの広域／詳細ボタンを押します。

4 表示エリア
通常は15.5文字×2行です。

5 番組ジャンプボタン
目次画面に戻らず、前後の番組にジャンプします。

ジャンプ直後の⬆ボタンを選択すると、ジャンプ前の番組の先頭ページに戻ります。

表示を2行にするには (停車時のみ)

「VICSの設定」(51ページ) で8行表示機能をOFF（初期設定はON）に設定します。

前後の番組を表示するには

番組ジャンプボタン (5) を選択して、カーソル/決定ボタンを押す。

前後のページを表示するには

リモコンの広域／詳細ボタンを押す。

番組目次画面 (1ステップ前) に戻るには

リモコンの戻るボタンを押す。

地図画面に戻るには

リモコンの現在地ボタンを押す。

ご注意

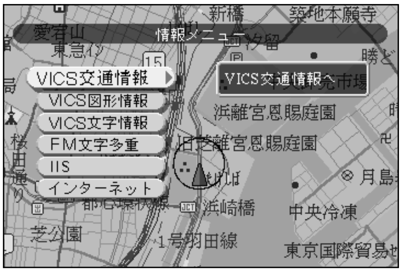
- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。

VICS図形情報を見る

VICS情報の図形情報を表示するには、情報メニューで「VICS図形情報」を選択します。
画面内のボタンの操作については、「VICS交通情報を見る」(38ページ) をご覧ください。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。



2 「VICS図形情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

図形番組の目次画面になります。



BEACONボタン（別売りのVICSビーコンユニットNVA-VB1接続時のみ）

前回受信時のビーコン情報を保持しているとき表示されます。

「次」ボタン

6番以降の番組があれば表示されます。このボタンを選択してカーソル/決定ボタンを押すと、6番以降の番組選択画面になります。

VICS文字情報を見る

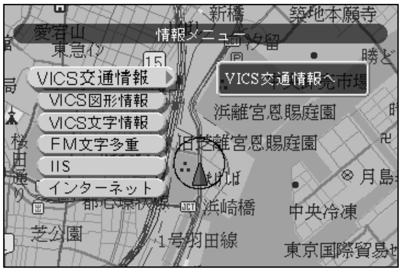
VICS情報の文字情報には、「区間旅行時間」、「駐車場情報」、「SA/PA (サービスエリア／パーキングエリア) 情報」、などがあります。

ご注意

文字情報の内容は、受信する地域によって異なることがあります。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。



2 「VICS文字情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

文字情報リスト画面になります。



3 表示したい項目を選択し、カーソル/決定ボタンを押す

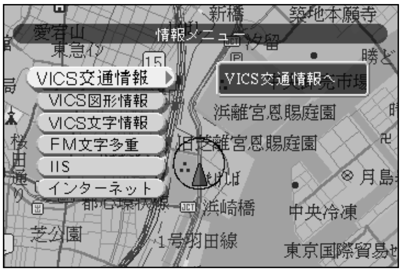
選択した項目の文字情報を表示します。

FM文字多重放送を見る

FM文字多重放送を見るには、情報メニューで「FM文字多重」を選択します。
画面内のボタンの操作については、「VICS交通情報を見る」(38ページ) をご覧ください。

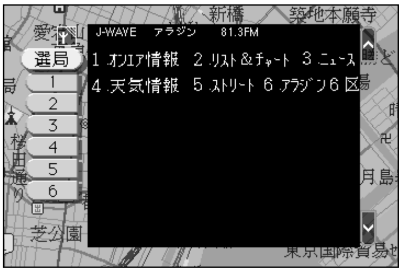
1 **情報ボタンを押す**

情報メニューが表示されます。



2 **「FM文字多重」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

FM文字多重放送の目次画面になります。



「選局」ボタン
選択して、カーソル/決定ボタンを押すと、「FM選局」画面（54ページ参照）に切り換わります。

3 **表示したい番組番号を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

インターネットに接続する

付属のPDCインターネットユニットとデジタル携帯電話（9600bpsのデータ通信機能に対応したもの）を接続し、必要な設定を行っておくと（57ページ）、インターネットのホームページに接続して最新の情報を見ることができます。
インターネットに接続するためにはプロバイダー（インターネットと接続するための通信会社）と契約する必要があります。

1 **情報ボタンを押す**

情報メニューが表示されます。



2 **「インターネット」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

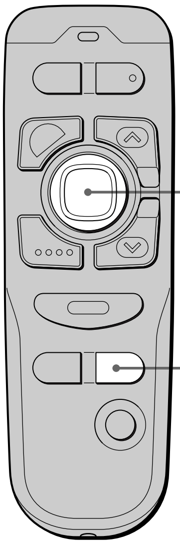


3 **「デモ」または「Start!」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

詳しくは、付属のPDCインターネットユニットの取扱説明書をご覧ください。

設定と調整（システムメニュー）

本機の設定項目は、システムメニューにまとめられています。
システムボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。



マークの名前などを変える（マーク編集）

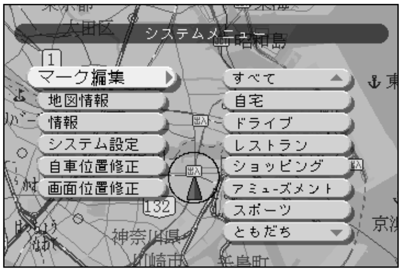
決定メニューでつけたマーク位置に、名前をつけたり、音声ガイド時の読みや電話番号を登録することができます。
また、地図画面上に表示するシンボルを選択することもできます。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「マーク編集」を選ぶ

マークリスト画面になります。

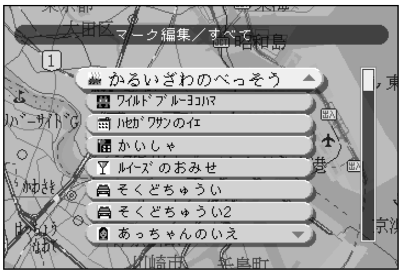


3 編集したいマークの種別を選ぶ

「すべて」を選択し、手順4に進むこともできます。

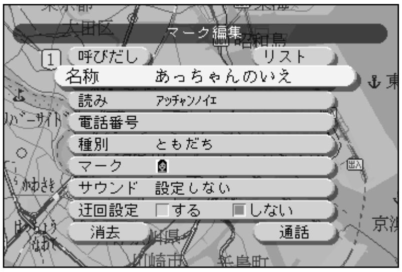
4 カーソル/決定ボタンを押して（または右に押して）、編集したい項目を選ぶ

マークリストが表示されます。最後に登録したマークが、一番上になっています。



5 カーソル/決定ボタンを押す

「マーク編集」画面になります。



呼びだし：マークポイントを地図画面に呼びだします。

名称：名称を変更できます。

読み：マークの読みを設定します。

電話番号：電話番号を登録します。

種別：マークリストに表示するときの種別を設定します。

マーク：地図画面上に表示するマークシンボルを設定します。

サウンド：マーク付近を自車が通過する際に出力する音の種類を設定します。

迂回設定：ルート探索時にマークポイントを迂回「する」、「しない」を設定します。

消去：マークを消去します。

通話：登録した電話番号に電話をかけます。（PDCインターネットユニット接続時のみ）

6 マークリスト画面に戻るには、「リスト」を選択してカーソル/決定ボタンを押す

各項目の編集画面で「設定」を選択すると、マーク編集画面に戻ります。

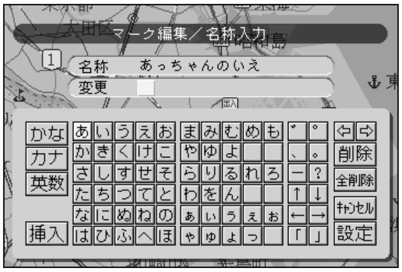
ご注意

- マークの種類や名前を変更したときは、必ず地図画面に戻ってから電源を切ってください。マークリスト画面のままで電源を切ると変更した内容が登録されません。
- 「サウンド」と「迂回設定」は、それぞれ10マークまで設定できます。

マークの名前を変更する

1 「マーク編集」画面（左図）で「名称」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

名称入力画面が表示されます。



2 カーソル/決定ボタンで新しく名前につける文字を1文字ずつ選択し、再度ボタンを押して確定する

「変更名」欄に入力内容が表示されます。
全角11字、半角22字まで入力することができます。

英数字やかな記号を入力するときは

「英数」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。ひらがな入力画面に戻るには、「かな」を選択して、ボタンを押します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

間違った文字を入力したときは

カーソル直前の文字の場合は、「削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押すと文字が削除されます。途中の文字の場合は、削除したい文字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、カーソル/決定ボタンを押すと文字が削除されます。

文字を挿入するには

⇦または⇨ボタンで挿入位置を決め、「挿入」を選択してから、文字を入力してカーソル/決定ボタンを押します。

入力したすべての文字を削除するには

「全削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

3 「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す

マークに新しい名前がつき、マーク編集画面に戻ります。
変更を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

マークの読みを設定する

マークの読みは、マーク位置を音声ガイドさせるときに使います。半角カタカナで入力します。

1 「マーク編集」画面（43ページ）で「読み」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「読み入力」画面になります。



2 カーソル/決定ボタンで読みを1文字ずつ選択し、再度ボタンを押して確定する

「変更名」欄に入力内容が表示されます。

22文字まで入力することができます。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

間違った文字を入力したときは

カーソル直前の文字の場合は、「削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押すと文字が削除されます。途中の文字の場合は、削除したい文字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、カーソル/決定ボタンを押すと文字が削除されます。

文字を挿入するには

⇦または⇨ボタンで挿入位置を決め、「挿入」を選択してから、文字を入力してカーソル/決定ボタンを押します。

アクセントや間合いを入れるには

「アクセント」や「ポーズ」キーを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。*

入力したすべての文字を削除するには

「全削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

3 「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す

マークに新しい読みがつき、マーク編集画面に戻ります。

「アクセント」、「ポーズ」の設定で入力ミスがあったときは、ポップアップ画面で知らせますので、再入力してください。

変更を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

***アクセントや間合い（ポーズ）を入れるには**

入力時に「アクセント」や「ポーズ」キーを選択し、カーソル／決定ボタンを押します。

アクセントとポーズは、入力画面では次のように表示されます。

アクセント：’（アポストロフィー）

ポーズ：＿（アンダーバー）

「アクセント」と「ポーズ」は複数の設定が可能です。ただし、「アクセント」は「ポーズ」で区切られた読みの間に1回だけ付けることができます。また、「アクセント」と「ポーズ」を続けて入力することはできません。

例）

○　「オ’イシイ＿イタリア’ン＿レストラン」

×　「オ’イシイ＿イ’タリア’ン＿レストラン」
（ポーズとポーズの間に2つのアクセント）

×　「オ’イシイ＿’イタリア’ン＿レストラン」
（ポーズの直後にアクセント）

入力された読みを確認するには

「試聴」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

ご注意

音声認識対象の音声コマンド（「ルート探索」「自宅」など）と同じ読みは、設定できません。

マークに電話番号を登録する

マークに電話番号を登録しておくと、マーク位置を呼び出して、電話をかけることができます。（付属のPDCインターネットユニット接続時）

1 **「マーク編集」画面（43ページ）で「電話番号」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

「電話番号入力」画面になります。



2 **登録したい電話番号を入力する**

カーソル/決定ボタンで数字キーを選択し、ボタンを押して1文字ずつ確定します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

間違った数字を入力したときは

カーソル直前の数字の場合は、「削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押すと数字が削除されます。途中の数字の場合は、削除したい数字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、カーソル/決定ボタンを押すと数字が削除されます。

入力したすべての数字を削除するには

「全削除」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

3 **「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す**

電話番号が登録され、マーク編集画面に戻ります。

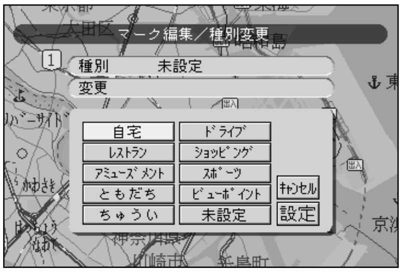
登録を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

マークの種別を変更する

マークは種別ごとに分類してリスト表示されます。マークの種別を変更すると、地図画面上に表示されるシンボルも自動的に変更されます。

1 **「マーク編集」画面（43ページ）で「種別」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

「種別変更」画面になります。



2 **種別（10種類）のいずれかを選択し、カーソル/決定ボタンを押す**

3 **「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す**

変更を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

自宅を登録するには

上記の手順2で「自宅」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

自宅登録は1件のみのため、すでに自宅が登録されていると、ポップアップ画面で2件以上登録できないことを知らせます。そのときは、自宅登録されているマークを消去するか、種別を変更してください。

マークのシンボルを変更する

地図画面上に表示するマークシンボルは、1種別につき6種類ずつ選択することができます。
6種類以外のシンボルに変更するには、まず種別を変更してからシンボルを選択してください。

1 **「マーク編集」画面（43ページ）で「マーク」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
「シンボル変更」画面になります。



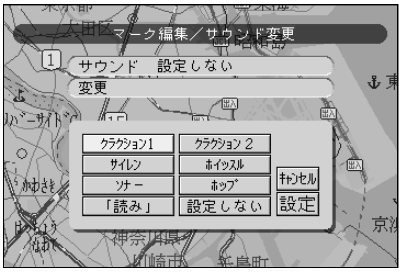
2 **マークシンボル（6種類）のいずれかを選択し、カーソル/決定ボタンを押す**

3 **「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す**
変更を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

マークのサウンドを変更する

自車がマーク付近を通過したときの音を設定することができます。

1 **「マーク編集」画面（43ページ）で「サウンド」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
「サウンド変更」画面になります。



2 **サウンド欄のいずれかを選択し、カーソル/決定ボタンを押す**
カーソル/決定ボタンを押すと、それぞれの音が出て、確認することができます。

音を出さないようにするには
「設定しない」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

「読み」の設定内容を出力するには
「読み」を選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

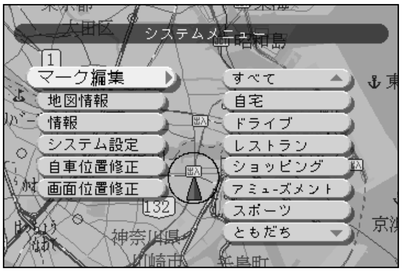
3 **「設定」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す**
変更を中止するには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

マークや走行軌跡などの表示を切り換える

地図画面上に、走行軌跡、マーク表示、最寄りマーク、ドライブ情報の各項目を表示するかしないかを設定します。

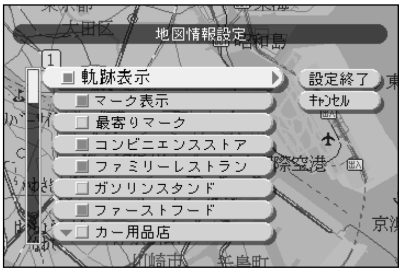
1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。



2 「地図情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「地図情報設定」画面になります。



3 各項目を選び、カーソル/決定ボタンを押して赤いチェックマークを切り換える

表示する項目には赤いチェックマークをつけ、表示しない項目では消します。

軌跡表示：走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく白い点のことです。「表示する」に設定したときのみ記録されます。

マーク表示：すべてのマーク表示を切り換えます。「表示しない」に設定すると、サウンド設定や迂回ルート設定も無効になります。

最寄りマーク：最寄り表示のピンマークの表示を切り換えます。最寄り検索を行うと自動的に「表示する」になります。

ドライブ情報：地図ディスク上に記録されているドライブ情報（レジャー施設、温泉地など）の表示を項目ごとに切り換えます。

4 「設定終了」を選んで、カーソル/決定ボタンを押す

設定を取り消すには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

ちょっと一言

走行軌跡の表示は1000ポイントまで記録されます。1000ポイントを越えると1ポイント目の軌跡から順に消えていきます。また、地図の縮尺に合わせて見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では軌跡の数は少なくなります。

ご注意

- 地図ディスクによっては、ドライブ情報が収録されていないものもあります。
- シンボル表示やその内容は、地図ディスクによって異なります。
- ドライブ情報がない縮尺の地図もあります。お使いになる地図ディスクによって異なりますが、通常は詳細な地図にドライブ情報が収録されています。
- ドライブ情報が収録されていない地域もあります。
- 複数の項目を選択すると、情報の表示が重なる場合があります。

GPS衛星の受信状態を見る

ドライブ中に現在地が表示されないときや自車マークが黒色のときなどに、以下の操作でGPS衛星の受信状態を確認してください。

1 システムボタンを押す

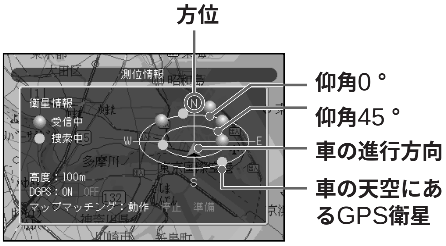
システムメニューが表示されます。

2 「情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

情報項目選択画面になります。



3 「測位情報」を選び、決定ボタンを押す



GPS衛星は次の2段階で表示されます。

受信中： 現在、電波を受信中のGPS衛星

捜索中： 障害物などで 電波を受信できないGPS衛星

自車マークから離れて表示されているGPS衛星ほど、障害物の影響を受けやすくなります。

以下の項目は、現在の状態を表示します。

DGPS：ON/OFF

マップマッチング ：動作/停止/準備

4 戻るボタンを押す

マップマッチングについて

マップマッチングが動作しているときは「動作」と表示されます。また、初めて本機を取り付けたときや別の車に付け替えたときなどは、しばらく「準備」と表示されます。準備が終了すると、「動作」の表示に変わりますが、次のようなときは、「停止」と表示されます。

- 地図ディスク上にマップマッチング情報のないエリアを走行しているとき
- 準備が終了した後に車速センサーコードがはずれてしまったとき

ご注意

- 確認のための表示が変わるまで数秒間かかる場合があります。
- マップマッチングの「準備」が表示しているときは、次の機能が働きません。
  - ー ルートガイドの音声案内や交差点拡大図の表示など
  - ー 走行中の交差点名や道路名
  - ー〝詳細地図〟を表示したときの正しい自車位置

自律航法機能の動作を確認する

内蔵の自律センサーが正しく動作していることを確認するには、システム情報画面で次の操作を行ってください。

ご注意

運転者が自律センサーの動作確認を行うことは危険です。必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。

1 システムボタンを押す

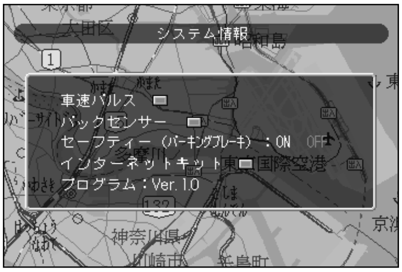
システムメニューが表示されます。

2 「情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

情報項目選択画面になります。

3 「システム情報」を選び、決定ボタンを押す

画面の確認は、必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。



車速パルス：この画面を表示した状態で車を安全な場所でゆっくり走らせて、赤いボタンが点滅することを確認してください。車の速度を上げると点滅が速くなります。

バックセンサー：シフトレバーがリバースの位置にあるときに、ランプの点灯（赤）を確認してください。

セーフティー：パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でON側のランプの点灯（赤）を確認してください。

インターネット：付属のインターネットユニット接続時に点灯します。

プログラム：システムプログラムのバージョンを表示します。

4 戻るボタンを押す

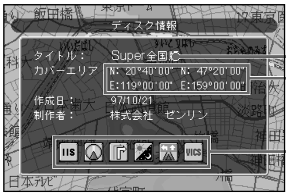
地図ディスクの種類などを見る

お使いになっている地図ディスクのカバーエリア(収録されている地図の範囲) やディスクのタイトルなどを見ることができます。

1 システムボタンを押す

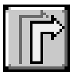
2 「情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 「ディスク情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

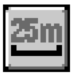


4 戻るボタンを押す

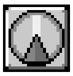
ディスクの機能マークについて



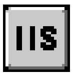
自動ルート探索対応：
自動ルート探索が可能です。



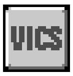
〝詳細地図〟対応：
〝詳細地図〟に対応している市販のナビ研S規格の地図ディスクを使用時に表示されます。詳しくは、「使用できる地図ディスクについて」(73ページ) をご覧ください。



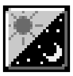
マップマッチング対応：
マップマッチング機能が働きます。詳しくは、「自律航法機能の動作を確認する」(左項) および「用語集」(85ページ) をご覧ください。



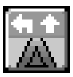
IIS情報対応：
IIS情報（37ページ）が収録されています。



VICS対応：
VICSのレベル3の情報が表示できます。



地図カラー自動切り換え対応：
地図カラー自動切り換え機能に対応したディスクです。詳しくは、「システムの設定」(50ページ) をご覧ください。



ジャンクション／ランプガイド対応：
ジャンクション／ランプガイド機能に対応したディスクです。詳しくは、「道案内の流れ」(11ページ) をご覧ください。

設定と調整

システムの設定

本機のシステム上の初期設定を変更できます。

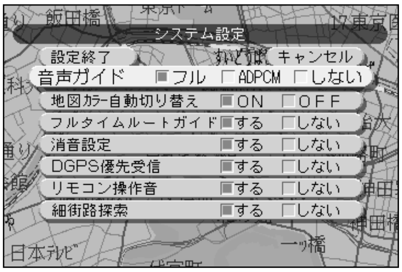
1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 サブメニューの「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「システム設定」画面になります。



音声ガイド：システム全体の音声ガイドを設定します。「フル」に設定すると、録音された音声と合成音声を用いて音声ガイドを行います。「ADPCM」[1]に設定すると、録音された音声だけを用いて音声ガイドを行います。「しない」に設定すると、音声ガイドは行いません。

地図カラー自動切り替え[2]**：**地図の夜/昼モード自動切り換え

フルタイムルートガイド[3]**：**フルタイムルートガイドのON/OFF

消音設定：カーステレオで音楽CDを聞くときに「する」にしてください。音声ガイドがあるときは音楽を自動的に消音します。（ソニーのオーディオマスターユニットでATT機能対応モデルに接続したとき）

DGPS[4] **優先受信：**DGPSとVICSのどちらを優先するかを設定します。「する」に設定すると、DGPS優先で受信しますが、VICSもあわせて受信します。ただし、優先していない機能が働かないことがあります。

リモコン操作音：リモコン操作時の確認音をON/OFFします。

細街路探索[5]**：**ルート探索時に細街路まで対象にするとき「する」に設定します。

4 必要な項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して設定を切り換える

5 「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

1) ADPCMについて

ADPCMとは、連続したサウンドデータを適応差分で表現する圧縮方式です。本機ではこの方式を用いて、録音された音声を記録しています。

2) 地図カラーについて

地図のカラーは、日付、時刻、緯度経度などの条件により、大まかな夜／昼を本機が判断して切り換えます。
この機能は、地図カラー機能対応ディスクをお使いになった場合のみ働きます。未対応のディスクでは、設定が「する」でも、常に昼モードです。

ご注意

夜間に「地図カラー自動切り替え」を「する」に設定しなおしたときや、地図ディスクを入れ換えた場合、地図カラーが切り換わるまでしばらく時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

3) フルタイムルートガイド

ルートガイド中か否かに関わらず、常に次のようなガイド機能が働きます。

- 前方の交差点、ジャンクション、インターチェンジ、料金所の名称や走行中の道路名の表示
- ジャンクション/ランプガイド表示
- 一方通行表示
- 前方の道路状態の音声ガイド

4) DGPSについて

DGPS機能とは、GPS衛星からの信号に加え、（株）衛星測位開発センターがFM多重放送を使って提供するGPS補正データを受信し、測位精度を向上させる機能です。また、自動サーチにより常に受信状態の良い周波数を選局します。
ただし、VICS交通情報や図形情報、文字情報、FM文字多重放送を表示しているときは、DGPSを受信できない場合があります。また、FM放送局が番組編集などの都合により、一時的にGPS補正データを送信しないことがあります。

5) 細街路探索について

細街路とは、通常のルート探索では対象にならない細い道のことです。細街路探索を「する」に設定すると、出発地、経由地、目的地付近のみを細街路を含めて探索します。細街路には、交通規制によって通行できない道や、自動車が走行できないような場所も含まれます。走行の際には周囲の状況に十分注意してください。細街路のルートガイドでは、交差点拡大や音声ガイドは行いません。

VICSの設定

内蔵のVICSユニットの初期設定を行います。
VICS情報の見かたについては、「いろいろな情報を見る」（38ページ）をご覧ください。

1 システムボタンを押す

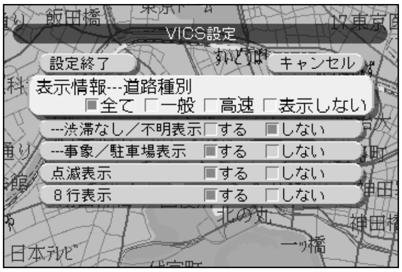
システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



3 サブメニューの「VICS設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「VICS設定」画面になります。



表示情報…道路種別：VICS情報の道路種別による表示を切り換えます。

「すべて」：高速道路/一般道路とも表示

「一般」：一般道路のみ表示

「高速」：高速道路のみ表示

「表示しない」：どれも表示しない。

表示情報…渋滞なし・不明：渋滞なし/不明の渋滞線表示の切り換え

表示情報…事象・駐車場：事故や規制・駐車場表示の切り換え

点滅表示：渋滞線の点滅表示設定

8**行表示：**停車中の文字表示を8行にします。2行に変えるときはOFFを選びます。

以下の項目は別売りのビーコンユニット接続時のみ表示されます。

ポップアップ設定：ポップアップの設定

「全て」：文字、図形情報をポップアップ

「図形のみ」：図形情報のみをポップアップ

「OFF」：ポップアップしない。

ポップアップ時間：ポップアップの表示時間を設定します。

情報取得時のチャイム：VICS情報を取得したときのチャイム設定

車種設定：使用車種の設定

ビーコン情報を消す：一時ビーコンの情報を消去し、地図画面上でFM情報を確認できます。新しいビーコンの情報を受信すると、再びビーコンの表示に戻ります。

4 必要な項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して設定を切り換える

5 「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

ご注意

文字情報のポップアップは先頭ページのみです。全てのページは情報メニューのVICS文字情報でご確認ください。（40ページ）

VICS局を選局する

VICS局の選局方法には、次の2種類があります。

- 周波数を指定して選局（手動選局）
- VICS局を自動的にサーチする（自動選局）

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 サブメニューの「VICS選局」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「VICS選局」画面になります。



VICS 表示は、受信している局がVICS局であることを示します。

NET 表示は、ネットワークサーチ機能対応局であることを示します。

サーチ：周波数の高い方向へ自動的にVICS局を探し始め、受信すると周波数を表示します。

手動選局：周波数入力画面*に切り換わります。

自動選局：受信感度の良い同系列局に周波数を自動的に切り換えます。ただし、電波の状況により、現在地に最も近い局を選局できない場合があります。そのときは、手動で選局を行ってください。

4 「この周波数にする」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

***周波数入力画面について**

「手動選局」を設定すると、下図のような周波数入力パレットが表示されます。



カーソル/決定ボタンで数字キーを指定し、ボタンを押して1文字ずつ確定します。

入力後、「設定」を選択してカーソル/決定ボタンを押します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

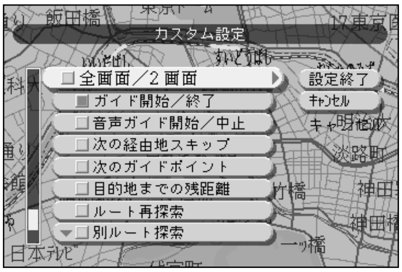
よく使う機能をカスタムメニューに登録する

よく使うメニュー項目をカスタムメニューに登録すると、カスタムボタンを押して設定または操作することができます。
カスタムメニューには、最低1つの項目を登録する必要があります。

1 システムボタンを押す
システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

3 サブメニューの「カスタム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
カスタムメニューに登録できる項目がリスト表示されます。



4 カーソル/決定ボタンの上下を押して登録する項目を選択し、カーソル/決定ボタンの左右を押して選択マーク（チェック）をつける
すでにチェックされている項目は、カーソル/決定ボタンを押すと、チェックがはずれます。

5 「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

オートアンテナ機能について
立体駐車場に入るとき、アンテナを収納する場合はカスタムメニューの「アンテナダウン」を選び、カーソル/決定ボタンを押します。
アンテナが収納されているときは、カスタムメニューは「アンテナアップ」と表示され、再びアンテナを上げるときに選択します。

カスタムメニューに登録した機能を使うときは
地図画面のときにカスタムボタンを押して、カスタムメニューを表示させます。
カーソル/決定ボタンで使いたい機能を選び、カーソル/決定ボタンを押します。

カスタムメニューに登録できる項目

マークの機能は、音声でも操作できます。

項目	機能
全画面／2画面	交差点拡大図やジャンクションガイドを画面全体または半分に表示します。
ガイド開始／終了	ルートが設定されていて、ルート探索が終了しているときに有効。
音声ガイド開始／中止	音声ガイドを開始、または中止することができます。
次の経由地をスキップ	現在向かっている経由地を飛ばして、次の経由地または目的地に対するルートガイドを行う機能。（経由地が設定されていてルートガイド中に有効）
次のガイドポイント	次のガイドポイントの交差点拡大図またはジャンクション／ランプガイドを表示し、音声で案内。（ルートガイド中に有効）
目的地までの残距離「あとどれくらい？」	目的地までの残距離を表示。（ルートガイド中に有効）
ルート再探索	ルートを再探索。（ルート設定済みのときに有効）常に自車位置からの探索になります。
別ルート探索	現在のルートと違うルートを探索。（ルート設定済みのときに有効）常に自車位置からの探索になります。
自宅ルート探索	現在地から自宅までのルートを探索。（自宅設定済みのときに有効）
一般道優先探索	一般道優先でルートを再探索。（ルート設定済みのときに有効）
高速道路優先探索	高速道路優先でルートを再探索。（ルート設定済みのときに有効）
全ルート表示	全ルートを表示。（ルートガイド中に有効）
測位情報	測位情報画面を表示。
アンテナアップ／ダウン	アンテナの上げ下げが可能。（オートアンテナ機能が付いている車に、ナビシステムのANT REM端子を接続したときに有効）

モニターの設定

音声で操作できます
地図画面のときに発話します。
「2画面」「全画面」

ポップアップ画面の表示を、地図画面との2画面で表示するかどうかを設定します。

1 **システムボタンを押す**
システムメニューが表示されます。

2 **「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

3 **サブメニューの「モニター設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**



画面モード：分割画面についての設定を行います。

全画面：画面全体にポップアップ画面を表示します。

2画面：地図画面との2画面に分割して、ポップアップ画面を表示します。

モニター画面：他社のモニターを接続したときのみ表示される項目です。

16:9：ワイド画面（16:9画面）に適した映像出力を行います。

4:3：4:3画面に適した映像出力を行います。

4 **カーソル/決定ボタンの上下を押して登録する項目を選択し、カーソル/決定ボタンの左右を押して選択マーク（チェック）を切り換える**

5 **「設定終了」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「キャンセル」を選んでカーソル/決定ボタンを押します。

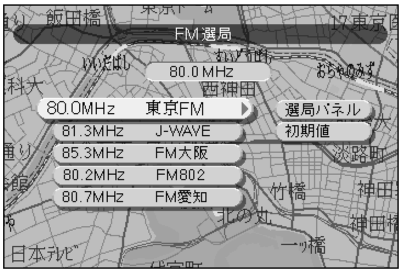
FM選局の設定

FM文字多重放送局の選局は、プリセットリストの番号から選択する方法と、プリセットリストにない放送局を自動または手動で受信する方法があります。

1 **システムボタンを押す**
システムメニューが表示されます。

2 **「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

3 **サブメニューの「FM多重選局」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**
プリセット局のリストが表示されます。



プリセットリストを工場出荷時の状態にするには
「初期値」を選び、カーソル/決定ボタンを押します。

4 **受信したいプリセット局リストを選び、カーソル/決定ボタンを押す**
選択したプリセット局の番組画面に切り換わります。

自動で選局する

プリセットリストにない放送局を、自動的に受信します。

1 **システムボタンを押す**
システムメニューが表示されます。

2 **「システム設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**

3 **サブメニューの「FM多重選局」を選び、カーソル/決定ボタンを押す**



4 「選局パネル」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



FM 表示は、受信している局がFM文字多重放送局であることを示します。

DGPS 表示は、受信している局がD-GPS局であることを示します。D-GPS局は自動的に受信するため、選局する必要はありません。

サーチ：周波数の高い方向へ自動的にFM局を探し始め、受信すると周波数を表示します。

手動選局：周波数入力画面*に切り換わります。

5 「この周波数にする」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

ご注意

- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。

***周波数入力画面について**

「手動選局」を設定すると、下図のような周波数入力パレットが表示されます。



カーソル/決定ボタンで数字キーを指定し、ボタンを押して1文字ずつ確定します。
入力後、「設定」を選択してカーソル/決定ボタンを押します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択し、カーソル/決定ボタンを押します。

受信局をプリセットリストに登録する

現在受信している放送局をプリセットリストに登録します。

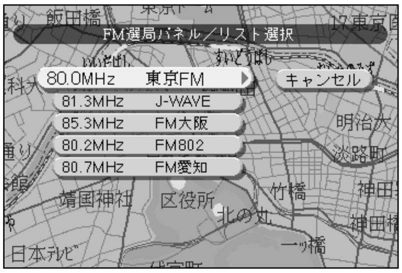
1 「FM多重選局」画面（54ページ）で「選局パネル」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「選局パネル」画面になります。



2 「リストに加える」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「リスト選択」画面になります。



3 登録したいプリセット局リストを選び、カーソル/決定ボタンを押す

すでに放送局が登録されている番号を指定すると、古い放送局はキャンセルされます。

ご注意

プリセットリストに登録した後、電源を切るときは地図画面に戻してから電源を切ってください。プリセットリストのまま電源を切ると、登録した内容が保存されないことがあります。

音声ガイドについて

FM文字多重放送の番組画面を表示しながら、ナビシステムでルートガイドを行うことができます。ルートガイド中に番組画面を表示しているときは、音声でガイドポイントまでの距離や進行方向などを案内します。交差点拡大図を確認したいときは、現在地ボタンを押すと地図画面に切り換わります。音声ガイドのON/OFFについては、「システムの設定」(50ページ)をご覧ください。

緊急情報について

災害時などにFM文字多重放送局が送信する緊急情報を、本機が受信したとき、画面に緊急情報を優先的に表示します。

ご注意

- 車のアンテナが収納された状態では、「緊急情報」の受信はできません。緊急情報を受信するときは、必ずアンテナを伸ばしてください。
- 受信した内容を見るときは、実際の交通規則に従い、車を安全な場所に停車してください。
- 受信状況により、送信された緊急情報をすべて受信できるとは限りません。

緊急情報について

災害に関する緊急情報は、本来、法令に基づき、国または地方自治体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。
本機は、緊急警報を受信できるようにしたものですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。
従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。

自車位置を修正する

フェリーなどで移動したあとに本機を使用すると、GPS衛星からの電波を受信するまで、自車マークが現在位置と一致しないことがあります。このような場合は、自車位置修正を行うことをおすすめします。
また実際に走行している道から、自車マークが大きくはずれて表示された場合や、本機の電源を切って走行したあと再び電源を入れた場合にも、自車位置を修正することをおすすめします。

ご注意

以下の操作は走行中に行うことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

1 システムボタンを押す
システムメニューが表示されます。

2 「自車位置修正」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



3 ＋マークを正しい自車位置に合わせ、カーソル/決定ボタンを押す
自車マークは色が変わり、＋マークの位置に表示されます。



4 カーソル/決定ボタンを左右に押して自車マークの向きを進行方向に合わせ、再度ボタンを押す
地図画面に戻ります。

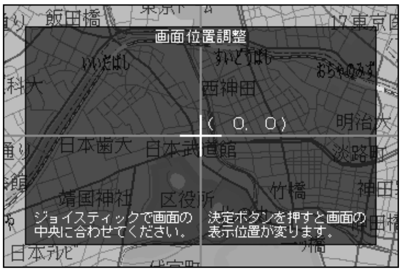
自車位置の修正を中止するには
「戻る」ボタンを押します。

画面の位置を微調整する

この機能は、画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

1 システムボタンを押す
システムメニューが表示されます。

2 「画面位置調整」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
「画面位置調整」画面になります。



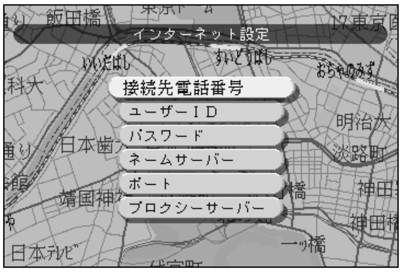
3 カーソルボタンを上下左右に押して＋位置を画面の中央に合わせ、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。

インターネットの設定

インターネット接続の設定を行います。
この項目は、付属のPDCインターネットユニットを接続したときのみ表示されます。

1 システムボタンを押す
システムメニューが表示されます。

2 「インターネット設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す
「インターネット設定」画面になります。



3 必要な項目を選択し、カーソル/決定ボタンを押す
各設定画面については、付属のPDCインターネットユニットNVA-W1Cの取扱説明書をご覧ください。

テレビを見る

別売りのモービルカラーテレビXTL-770Wを接続すると、テレビを見たり、モニターに内蔵のスピーカーで音声を聞くことができます。

安全運転のために

- テレビ画面は、パーキングブレーキを引いて車が停車中でないと見ることはできません。パーキングブレーキを戻すと、安全のために下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ画面を消し、音声のみとなります。

安全のため走行中は
映像が出ません

- テレビ放送などを見るときは、安全な場所に停車してご覧ください。

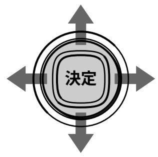
選局する

1 モニターのTV/VIDEOボタンを押す

テレビ画面になります。

2 チャンネルを選ぶ

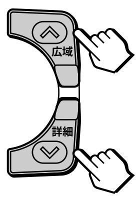
自動選局



受信できるチャンネルを自動的に探しながら選局します。

手動でチャンネルを切り換えるには、カーソル/決定ボタンの上下を押します。

3 音量を調節する



調節のしかた

画面を見ながら、リモコンでボリュームをセンター付近に調節したあとモニターのVOLコントロールを調節して、適度な音量になるようにしてお使いください。

ズームボタンで音量を上げても、音量が大きくならないときは、モニターのVOLコントロールで音量を上げてください。

テレビの詳しい操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

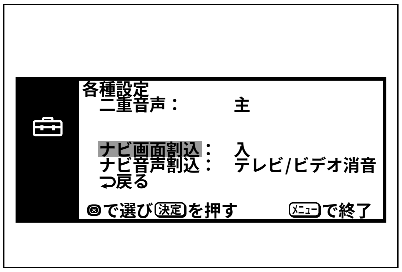
XTL-770Wを接続した場合

交差点拡大やVICS情報の画面を自動的に割り込ませるには

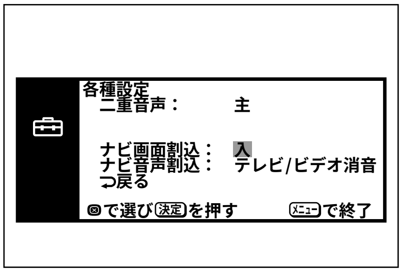
オーディオ情報を見ているときでも、交差点に近づいたときやVICSの新しい情報が入ったときに自動的にナビ画面に切り換えることができます。
テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

1　リモコンのメニューボタンを押す
メニュー画面になります。

2　カーソル/決定ボタンを上下に動かして（各種設定）を選び、ボタンを押す



3　カーソル/決定ボタンを上下に動かして「ナビ画面割込」を選び、ボタンを押す



4　カーソル/決定ボタンを左右に動かして「入」または「切」を選び、ボタンを押す
入：自動的にナビ情報の画面に切り換わる
切：常時テレビまたはビデオの映像

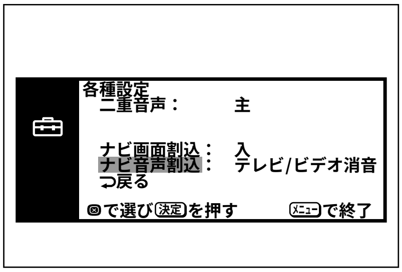
5　設定が終わったら、メニューボタンを押す

案内音声を自動的に割り込ませるには

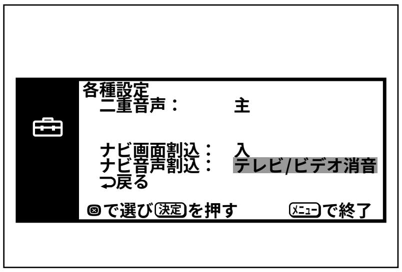
ナビの案内音声が出力されたときに、テレビやビデオの音声を自動的に消音させることができます。
テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

1　リモコンのメニューボタンを押す
メニュー画面になります。

2　カーソル/決定ボタンを上下に動かして（各種設定）を選び、ボタンを押す



3　カーソル/決定ボタンを上下に動かして「ナビ音声割込」を選び、ボタンを押す



4　カーソル/決定ボタンを左右に動かして「テレビ／ビデオ消音」または「ミックス」を選び、ボタンを押す
テレビ／ビデオ消音：ナビの音声案内があると自動的にテレビまたはビデオの音声が消音される
ミックス：テレビまたはビデオの音声にナビの案内音声がミックスされる

5　設定が終わったら、メニューボタンを押す

ご注意
- マスターユニットと接続している場合は、このメニューは表示されません。
- マスターユニットからの音楽を消音するときは、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

モニタースピーカーやFMトランスミッターからの音声出力について

音声案内が割り込まれるときは、「ナビ音声割込」の設定（前ページ）とモニターなどの音声出力の設定によって、モニタースピーカーやFMトランスミッターからの音声出力が異なります（下の一覧をご覧ください）。

なお、ナビシステムの画面に切り換えているときは、どの設定でも常にナビの音声が出力されます。

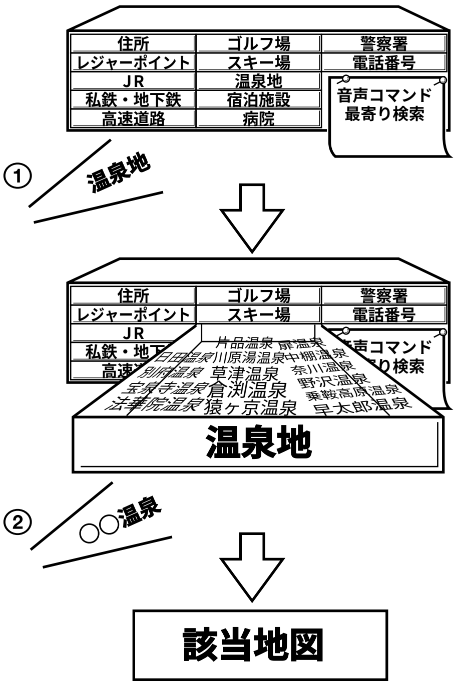
<table>
<tr><th colspan="3">メニュー設定</th><th colspan="2">音声出力</th></tr>
<tr><th rowspan="2">各種設定の
ナビ音声割込</th><th colspan="2">映像音声入出力設定</th><th rowspan="2">モニタースピーカーの
音声は？</th><th rowspan="2">トランスミッター外部出力
の音声は？</th></tr>
<tr><th>モニター音声出力</th><th>外部音声出力</th></tr>
<tr><td>テレビ/ビデオ消音</td><td rowspan="4">ナビ／テレビ
（ビデオ）</td><td rowspan="2">入力ソース</td><td>テレビ/ビデオ音声を消音してナビ音声を出力</td><td>テレビ/ビデオ音声を消音</td></tr>
<tr><td>ミックス</td><td>テレビ/ビデオ音声とナビ音声のミックス</td><td>テレビ/ビデオ音声</td></tr>
<tr><td>テレビ/ビデオ消音</td><td rowspan="2">ナビ/入力ソース</td><td colspan="2">テレビ/ビデオ音声を消音してナビ音声を出力</td></tr>
<tr><td>ミックス</td><td colspan="2">テレビ/ビデオ音声とナビ音声のミックス</td></tr>
<tr><td>テレビ/ビデオ消音</td><td rowspan="4">ナビ</td><td rowspan="2">入力ソース</td><td rowspan="4">ナビ</td><td>テレビ/ビデオ音声を消音</td></tr>
<tr><td>ミックス</td><td>テレビ/ビデオ音声</td></tr>
<tr><td>テレビ/ビデオ消音</td><td rowspan="2">ナビ/入力ソース</td><td>テレビ/ビデオ音声を消音してナビ音声を出力</td></tr>
<tr><td>ミックス</td><td>テレビ/ビデオ音声とナビ音声のミックス</td></tr>
</table>

音声認識を使いこなす

音声認識のしくみ

本機は、約14万件のキーワードと連続数字を認識できます。
ただし、14万件のすべてを、いつまでも認識できるわけではありません。14万件のキーワードは、左記のイラストのように認識辞書データとして分類されています。したがって、選択した辞書によって認識できるキーワードが異なります。
ただし、ナビシステムを操作する音声コマンド(67ページ)は、認識辞書にかかわりなく認識できる構造になっています。最寄り検索のキーワードも同じです。(電話番号入力時を除く)

音声認識のしくみ



選んだ辞書は変更するまで、維持されています。したがって、一度選んだ認識辞書を続けて使用する場合は、辞書切り替えのキーワードを省略することができます。
発話するたびに、音声入力ボタンを押してください。

例)

「レジャーポイント」
↓　(認識辞書を切り換えるためのキーワードの発話)
:「レジャーポイント名で検索できます」
↓　(ナビからの確認の応答)
「○○遊園地」
↓　(実際の検索指示の発話)
:「XX動物園」
↓　(誤認識して該当地点表示)
「○○遊園地」(もう一度発話)
↓　**「レジャーポイント」と改めて発話する必要はありません。**
:「○○遊園地」(該当地点表示)

住所や地名で地図を検索する

以下の例は、個々の認識辞書ごとの音声による操作例です。

住所

例1：

「住所」（認識辞書を切り換えるキーワード）
：「都道府県市区町村名で検索できます」
「（神奈川県）横浜市中区」
：「（神奈川県）横浜市中区」
（該当地点が表示されるまで待ちます）
「山下町」
：「山下町」（該当地点表示）

都道府県市区町村名と大字町名の2回にわけて発話します。
郡のつく住所の場合は、郡の名前を省いて「○○県○○町」と発話します。
ナビが、都道府県市区町村名を認識すると、該当地点を表示します。
大字町名を発話する場合には、都道府県市区町村が表示された直後に、音声入力ボタンを押しながら大字町名を発話します。

ご注意

- 「神奈川県横浜市中区山下町」を一気に発話しても、認識できません。
- 大字町名の検索は、必ず使わなければならないというものではありません。必要に応じて使用してください。
- 政令指定都市は、都道府県名を省いても認識できます。（「○○市○○区」）
- 政令指定都市は、区名を省いても認識できます。（「○○県○○市」）この場合、都道府県名は省略できません。

例2

「住所」（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「都道府県市区町村名で検索できます」
「神奈川県横浜市」
：「神奈川県横浜市」（該当地点表示）
「中区」
：「中区」（該当地点表示）

「山下町」
：「山下町」（該当地点表示）

- 一覧表の中で頭に＊印のついている地名の場合は、同じ呼び方の地名があるため、郡の名前も発話してください。
- 大字町名を使って検索するには、ナビが都道府県市区町村名を認識し、該当地点を表示したあとに発話する必要があります。誤認識して他の都道府県市区町村を表示した場合は、再度都道府県市区町村名から発話する必要があります。

レジャーポイント

遊園地、テーマパーク、動植物園、オートキャンプ場、景観地、博物館、美術館、資料館、神社、寺院、教会、城・城跡、史跡、水族館、観光名所、レジャー施設が認識対象です。

例

「レジャーポイント」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「レジャーポイント名で検索できます」
「東京ディズニーランド」
：「東京ディズニーランド」（該当地点表示）

JR

全国のJRの駅名が認識対象です。

例

「JR（ジェイアール）」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「JRの駅名で検索できます」
「品川駅」
：「品川駅」（該当地点表示）

私鉄・地下鉄

全国の私鉄の駅名と地下鉄の駅名が認識対象です。

例

「私鉄」「地下鉄」でもOK
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「私鉄、地下鉄の駅名で検索できます」

「自由が丘駅」
：「自由が丘駅」（該当地点表示）

ご注意

同じ読みの駅名を区別するためには、駅名の頭に、鉄道会社名をつける必要があります。

高速（有料）道路

全国の高速（有料）道路のインターチェンジ、ジャンクション、サービスエリア、パーキングエリアが認識対象です。

例

「高速道路」（**「インターチェンジ」**でもOK）
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「インターチェンジなどの名前で検索できます」

「横浜インターチェンジ」
：「横浜インターチェンジ」（該当地点表示）

ゴルフ場

全国のゴルフ場が認識対象です。

例

「ゴルフ場」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「ゴルフ場の名前で検索できます」

「軽井沢ゴルフ倶楽部」
：「軽井沢ゴルフ倶楽部」（該当地点表示）

スキー場

全国のスキー場が認識対象です。

例

「スキー場」
：「スキー場の名前で検索できます」

「ニセコアンヌプリ国際スキー場」
：「ニセコアンヌプリ国際スキー場」
（該当地点表示）

温泉地

全国の温泉地が認識対象です。

例

「温泉地」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「温泉地の名前で検索できます」

「法華院温泉」
：「法華院温泉」（該当地点表示）

宿泊施設

全国の宿泊施設（ホテル、旅館、国民宿舎など）が認識対象です。

例

「宿泊施設」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）
：「ホテル、旅館名で検索できます」

「京都プリンスホテル」
：「京都プリンスホテル」（該当地点表示）

病院

全国の大きな病院が認識対象です。

例

「病院」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）

：「病院の名前で検索できます」

「国立小児病院」

：「国立小児病院」（該当地点表示）

警察署

全国の警察署が認識対象です。

例1

「警察署」
（認識辞書を切り換えるためのキーワード）

「堺東警察署」

：「堺東警察署」（該当地点表示）

ご注意

認識しにくい場合は、あたまに都道府県名をつけて発話してください。

例2

「大阪府堺東警察署」

本機が認識した地名や場所の名前が、発話したものと異なるときは

音声入力ボタンを２回以上続けて押します（ダブルクリック）。操作する前の状態に戻ります。

ご注意

ダブルクリックによる、誤認識の訂正は、操作する前の状態に戻れない場合もあります。特に次の場合、前の状態に戻れません。

- 認識した結果の返答後、リモコンで地図スクロールをしたり、メニュー操作をしたとき
- 電話番号を発話して検索、通話するとき
- 誤認識によってルート探索が開始され、ルート探索が終了してしまったとき
- 電話をとる、電話をかける操作のとき
- 「こんにちは」など、画面に変化がなく、音声のみが返答するとき
- 音声による「電話する／電話番号で検索する」の機能は、付属の地図ディスクを使用時のみに働きます。

電話する／電話番号で地図を検索する

電話番号が認識対象です。専用のパレットが表示されます。

例

（市外局番/市内局番/番号　に区切って発話します）

「電話番号」

（認識辞書を切り替えるためのキーワード）

：「電話番号で検索、または通話ができます」

（専用パレットを表示）

「03」（市外局番）

：「03」（認識した数字を表示）

「5448」（市内局番）

：（認識した数字を表示）

「3311」

：「3311」（認識した数字を表示）

「検索」

：「検索します」（該当地点を表示）

地図画面に戻るには

「現在地」と発話します。

または、リモコンの現在地ボタンや戻るボタンを押します。

誤認識した場合の訂正方法

- 音声入力ボタンをダブルクリック（すばやく2回押す）する。→直前に発話した数字を削除します。
- 音声入力ボタンをクリック（1回押す）する。→後ろから1桁ずつ削除します。
- 画面の黄色の入力カーソル位置を、音声で操作することができます。

「左」（左に1ケタ移動します）

「右」（右に1ケタ移動します）

「先頭」（先頭に移動します）

「末尾」（末尾に移動します）

その他に電話番号入力時に認識できるキーワードは、

「削除」（黄色の入力カーソル上の数字を削除します）

「全削除」（全部の数字を削除します）

「挿入」（挿入のためのスペースができます）

ご注意

- 認識出来る連続数字は、最大6ケタまでです。6ケタ以内で発話してください。
  数字を入力したあと、必ず「検索」を発話する必要があります。（電話をかける場合には「通話」になります）
  市内局番まで入力すれば、検索できます。必要に応じて番号を発話してください。
  黄色い入力カーソルが、数字と重なっているとき、自動的に訂正中であると判断し、連続数字認識は1ケタだけの認識になります。これにより認識率を飛躍的にアップさせています。
  リモコンを使って、数字入力パレットで訂正することもできます。（数字入力のパレットの操作方法は、33ページをご覧ください）
  通話するには、携帯電話の接続が必要です。
- 走行中は安全のため操作できません。

音声でナビシステムを操作する

音声認識で、ナビシステムを操作するときには、次のように発話します。

発話例：

「ルート探索」

↓　（ナビシステムを音声で操作するためのキーワードを発話します。）

：「ルートを探します」

（確認の応答。ルート探索を開始し、ルートガイドを開始します。）

音声認識を使いこなす

音声で最寄り検索をする

自車位置から、もっとも近い指定した施設の検索ができます。

例

「最寄りのコンビニ」または**「近くのコンビニ」**

（最寄り検索を音声で操作するためのキーワードです。キーワードは言い換えを含め、全部で133種類あります）

：「コンビニエンスストアです」

（該当地点表示）

ご注意

- 最寄り検索の場合、いつでも認識できる構造になっています。辞書名を発話する必要はありません。
- 周辺に指定した最寄りデータがない場合、ポップアップウィンドウが画面に表示され、お知らせします。使用しているディスクにより、検索できる対象が異なります。使用しているディスクに指定した最寄りがない場合、ポップアップウィンドウが画面に表示され、お知らせします。

音声コマンド（シンプルモード）

ナビシステムを操作するキーワードと、最寄り検索のみが認識対象です。

例

「音声コマンド」（または**「シンプルモード」**）

（認識辞書を切り換えるためのキーワード）

：「シンプルモードです」

ご注意

- 通常、このモードを音声で指定する必要はありません。音声コマンドが、地名など他の言葉に誤認識される場合に、指定してください。このモードを指定した場合、ナビシステムを操作する音声コマンドだけになり、地点検索はできなくなります。
  認識しにくい場合や周囲の騒音が大きいとき、このモードにしておくことで、認識率が向上します。ただし、最寄り検索以外の地点検索はできなくなります。
- 住所検索やレジャーポイント検索を行うと、音声コマンド（シンプルモード）を自動的に解除し、住所や地名検索の認識辞書と音声コマンドになります。
  音声コマンド（シンプルモード）のみをOFFにすることはできません。

音声コマンド一覧

音声コマンドとは、ナビシステムを動作させるためのキーワードです。

● 最初の３つ

音声コマンド	言い換え	確認音声
ここに行く	ルート探索、目的地設定	「ルートを探します」
家に帰る	自宅ルート探索	「自宅までのルートを探します」
ここどこ？	現在地	「現在地は○○付近です」

● ルート設定

音声コマンド	言い換え	確認音声
帰路探索		「帰りのルートを探します」
別ルート探索		「別のルートを探します」
ルート再探索	再探索	「ルートを探します」
一般道路優先探索	一般道優先	「一般道優先でルートを探します」
高速道路優先探索	高速道路優先	「有料道路優先でルートを探します」
次の経由地をスキップ	経由地スキップ	「経由地をスキップします」

● 地図操作

音声コマンド	言い換え	確認音声
マーク設定	マーク、マークをつける	「マークをつけます」
自宅		「自宅です」
市街図	市街地図、拡大地図	（サウンド）
ヘディングアップ	回転	「ヘディングアップにします」
ノースアップ	固定	「ノースアップにします」
広域		（サウンド）
詳細		（サウンド）

ご注意

「ここどこ？」（現在地）に対して確認の応答（「現在地は○○付近です」）があるのは、地図スケールが50mまたは100mのときのみです。（付属の地図ディスク使用時）
付属以外のディスクの場合は、ディスクによって応答のある地図スケールが異なります。

● ルートガイド

音声コマンド	言い換え	確認音声
音声ガイド開始		「音声ガイドを始めます」
音声ガイド中止	うるさい	「音声ガイドを中止します」
ルートガイド終了		「ルートガイドを終了します」
あとどれくらい？		「経由地1 （出発地/目的地）まで○キロメートルです」
次は？	次のガイドポイント	「○キロメートル先、○○交差点（ジャンクション）○○方向です」
ここどこ？	現在地	「現在地は○○付近です」
今、何時？		「○○時○○分です」
何時につく？	到着予定	「○○時○分頃到着予定です」

● 画面/携帯電話

音声コマンド	言い換え	確認音声
２画面	ワイド２画面	「ワイド２画面です」
全画面	ワイド全画面	「ワイド全画面です」
電話をとる		「電話をとります」
電話を切る		「電話を切ります」

● 遊び

音声コマンド	言い換え	確認音声
おはよう		「おはようございます」
こんにちは		「こんにちは」（他、5カ国語で応答します）
こんばんは		「こんばんは」

● 電話

音声コマンド	言い換え	確認音声
（連続数字：一度に6桁まで）		
通話	電話、発信	「電話をかけます」
検索		「検索します」
シャープ	イゲタ	「シャープ」
アスタリスク		「アスタリスク」
削除	訂正	「削除」
全削除		「削除します」
挿入	スペース	「挿入」「スペース」
右		「右」
左		「左」
末尾		「末尾」
先頭		「先頭」

● 認識辞書名

認識辞書	発話キーワード
住所（検索）	「○○県○○市○○区」、「○○市○○区」（政令指定都市の場合） 「○○県○○市」、「○○区」（政令指定都市の場合）、「○○町」
レジャーポイント（検索）	「○○遊園地」など
ＪＲ（検索）	「○○駅」
私鉄（検索）または地下鉄（検索）	「○○駅」
高速道路（検索）	「○○インターチェンジ」、「○○ジャンクション」、「○○料金所」 「○○サービスエリア」、「○○パーキングエリア」
ゴルフ場（検索）	「○○ゴルフ場」
スキー場（検索）	「○○スキー場」
温泉地（検索）	「○○温泉」
宿泊施設（検索）	「○○ホテル」
病院（検索）	「○○病院」
警察（検索）	「○○警察署」「○○県○○警察署」
電話番号（検索）	「電話番号で検索、または通話ができます」

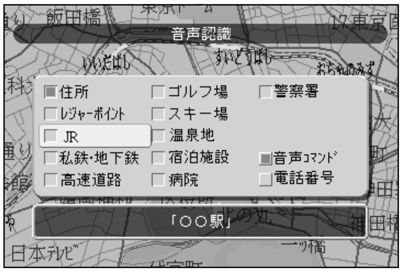
正確に認識させるために

認識辞書の確認

本機がどの認識辞書を選択しているか、画面で確認することができます。また、リモコンを使って画面上で認識辞書を変更することもできます。

認識辞書を表示するには

音声入力ボタンを一度だけクリックします。（押してすぐに離す）



リモコンで認識辞書を切り換えるには

1 リモコンで、選択したい辞書を選び、決定/カーソルボタンを押す。

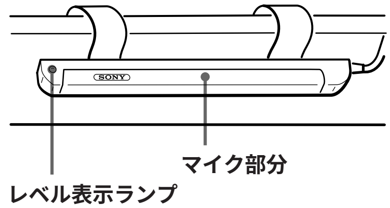
選択した辞書に赤いチェックが入って、地図画面に戻ります。

2 選択した辞書の地点キーワードを発話する。

すでに辞書は切り換わっていますので、辞書を切り換えるキーワードは必要ありません。

マイクについて

本機は、発話した内容をサンバイザーに取り付けたマイクから収録し、認識します。



レベル表示ランプ

音の入力があると点灯します。通常認識させるときは、点灯する程度の音で発話してください。マイクから遠い場合は、大きめに声を出すか、マイクを近づけて発話してください。

ご注意

カーステレオなどの音量は下げておいてください。また、車外の雑音が多いときは窓を閉めてお使いください。誤認識の原因となります。

発話するとき

音声入力ボタンを押したあと、すぐに声を出し、発話後はすぐに音声入力ボタンから指を離してください。以下のような場合も情報として認識しますので、誤認識の原因となります。

- 発話の前後の長い無音時間
- 発話の前後の「えーっと」「うーんと」など

その他

誤差について

GPS衛星自体による誤差

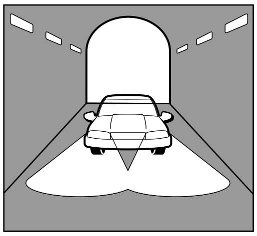
本機では、3個以上のGPS衛星*からの電波を受信すると自動的に現在地を測位しますが、場合によっては約200メートルの誤差を生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測位精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。このような場合は、実際に走行している道と地図上での自車マークの位置が完全には一致しなくなり、実際に走行している道とは異なる道路に自車マークが表示されることもあります。

* GPS衛星について、詳しくは「道案内の概要」(6ページ)と「用語集」(85ページ) をご覧ください。

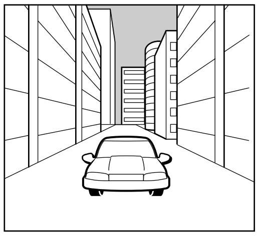
衛星からの電波が受信できないとき

GPS衛星からの電波がとどかないトンネルの中や地下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物がある場合では、実際の車の位置と自車マークがずれることがあります。

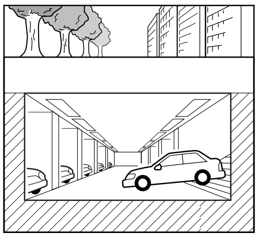
トンネルの中



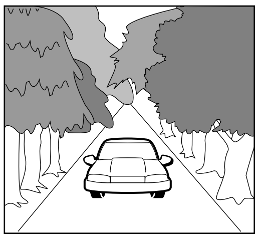
高層ビルの間



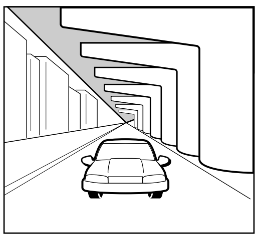
地下



密集した樹木の間



高架の下



その他

誤差が大きくなるとき

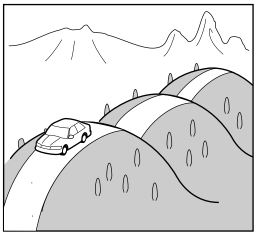
衛星からの電波が受信できないときでも、本機は自律航法とマップマッチングによって、誤差を小さく抑えることができます。

ただし、次のような状況では自律航法*やマップマッチング*が正しく働かず、誤差が大きくなることがあります。

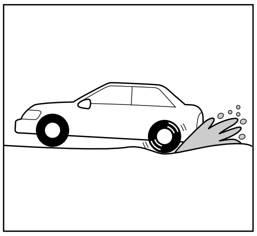
* 「自律航法」「マップマッチング」について、詳しくは「用語集」(85ページ) をご覧ください。

走行状態が正しく測定できない

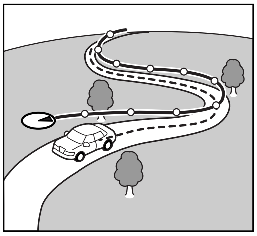
勾配の急な山道



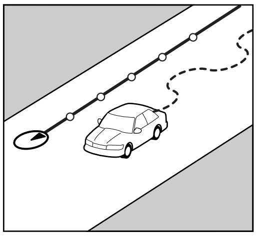
雪道や砂利道でのスリップ



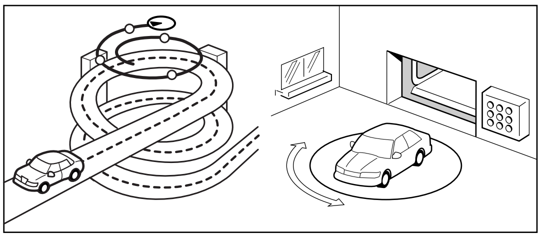
ヘアピンカーブ



蛇行運転

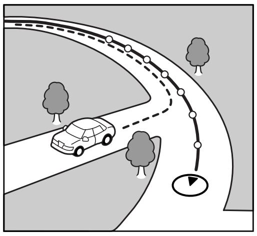


ループ橋やターンテーブルでの旋回

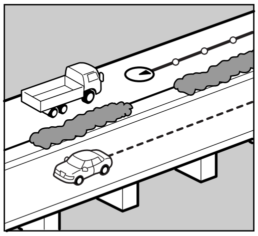


マップマッチングで自車マークが他の道路にのってしまう

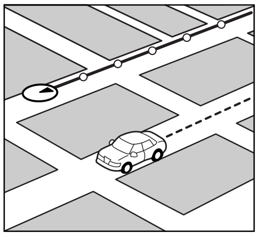
角度の小さなＹ字路



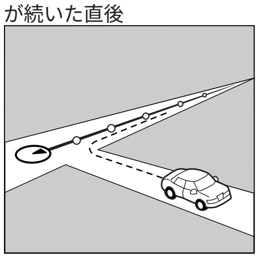
上り下り二車線の場合



並行している道がある

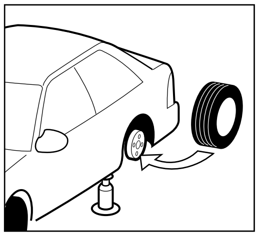


長い直線や緩やかなカーブが続いた直後



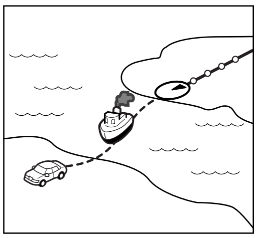
その他

タイヤやチェーンの交換後

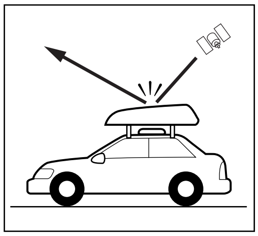


電源を切って走行したあとに電源を入れたとき

フェリーなどで移動したあと



GPSアンテナがルーフキャリアの下に設置してあるとき



誤差を小さくするために

30分間の走行を!
初めて本機を取り付けたときや、別の車に本機を付け換えたときなどに、しばらくのあいだ現在位置表示の誤差が大きくなることがあります。これは、車種によって異なる車速パルスの種類を自動的に算定したり、タイヤ径などによって生じる車速パルスの誤差を補正したりといった計算を行っているためで、故障ではありません。
正常に動作するまでのあいだ、約30分間、GPS衛星からの電波を受信した状態で走行してください。
リセットボタンを押したあとや、自車マークが黒の状態で電源を切って再び電源を入れたあとなども同様に操作してください。

5秒間の停車を!
車のキーをON位置にしてすぐに車を発進させると、自車マークが実際の走行方向と違う方向に進むことがあります。この場合、しばらく走行すると正しい位置に表示されますが、測位の精度を上げるためには、約5秒間停車することをおすすめします。

使用できる地図ディスクについて

本機はナビ研S規格専用です。本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会統一S規格のシンボルマーク(ナビ研S規格)マークがついている地図ディスクをお使いください。
ナビ研S規格のマークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格の基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわりなく本機で使用できます。

推奨ディスク
ゼンリン　ナビソフトドライブマップ2 Super関東版II その他の地域版シリーズ

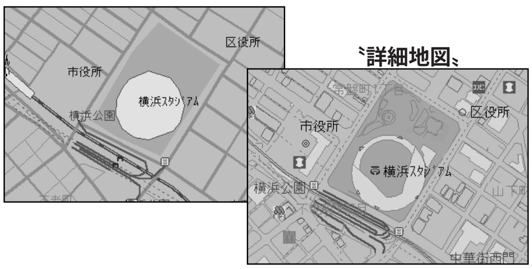
naviken S　　naviken S

ナビゲーションシステム研究会統一S規格マーク

〝詳細地図〟について

ナビ研S規格の地図ディスクは、従来よりもさらに詳細な縮尺(25〜50m)の〝詳細地図〟に対応しているものがあります。

従来地図　　〝詳細地図〟

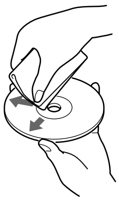


地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

ご注意
本書で使用している地図画面は説明用のものです。
また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

保存
直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。
特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ
ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆に地図ディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

結露について
寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露 (水滴) を生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

メニューの種類について

安全のため、パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でないと設定や登録などの複雑な操作はできません。
また、走行中に操作できないメニュー項目は、リストに現われません。

走行中に表示されるメニューは、以下のとおりです。

決定メニュー
- ノースアップ（またはヘディングアップ）
- マーク設定
- VICS情報（カーソルがVICSシンボル位置にあるとき）

ルートメニュー
- ガイド終了（またはガイド開始）

情報メニュー
- VICS交通情報
- VICS図形情報
- VICS文字情報

システムメニュー
- 情報（測位情報／システム情報）

カスタムメニュー
- 登録済みカスタムメニュー項目

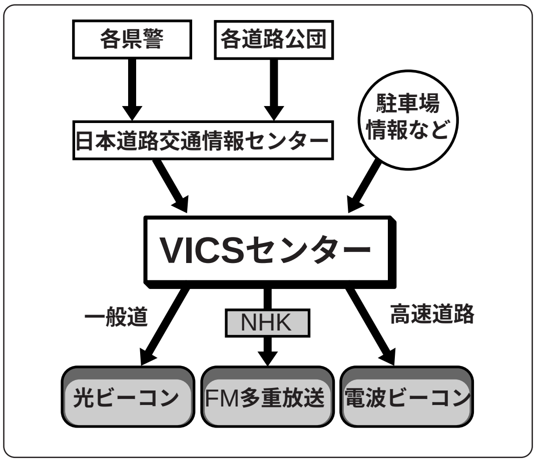
ご注意
走行中に、検索メニューは使用できません。

VICSについて

VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System) とは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。
従来の道路交通情報は、都道府県の警察や各道路公団等によって情報収集され、それぞれが交通情報を発信すると同時に日本道路交通情報センターでまとめて発信されていました。
VICSセンターは、官学民の協力によってこれらの情報を一元化し、リアルタイムで、より精度の高い交通情報を提供することなどを目的にして設立された財団法人です。

VICSのしくみ



* VICSは、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、全国都市間高速道路がサービス地域です。('97年10月現在)

VICSが提供する情報の種類

VICSセンターが供給するサービス情報には、次のような種類があります。

- **渋滞情報** (渋滞地点、渋滞区間など)
- **所要時間情報** (主要地点間の所要時間)
- **交通障害情報** (事故、故障車、工事など)
- **交通規制情報** (通行止め、速度規制、車線規制など)
- **駐車場情報** (駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など)

本機で受信するVICS情報

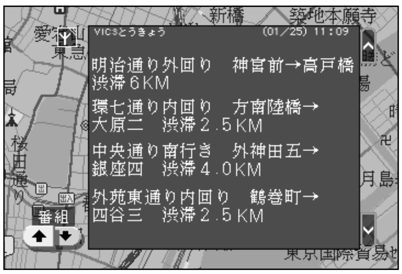
VICSセンターが提供する情報は、各都道府県単位の広域情報（FM多重放送で提供）と高速道路上など限定地域での詳細情報（電波ビーコン、光ビーコンで提供）に大きく分かれます。

- 本機が受信するVICS情報は、FM多重放送で提供される広域道路交通情報のみです。
- 情報は都道府県単位で、高速道路情報などを加えて発信されます。
- 内容は5分ごとに更新されます。(2.5分単位で2回送信)
- FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。VICS情報はVICSセンターがNHKの設備を使って放送しているもので、NHKのFM文字多重放送とは異なります。また、全国すべてのNHK放送局から発信されているものではありません。
- 電波ビーコン、光ビーコンによるビーコン情報を受信するには、別売りのビーコンユニットNVA-VB1が必要です。

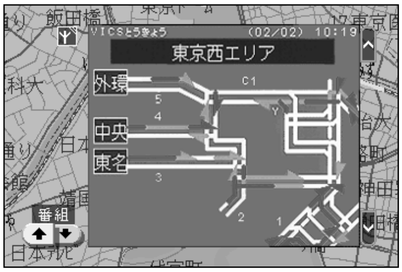
VICS情報の表示について

VICS情報は次の3種類の表示方法で見ることができます。

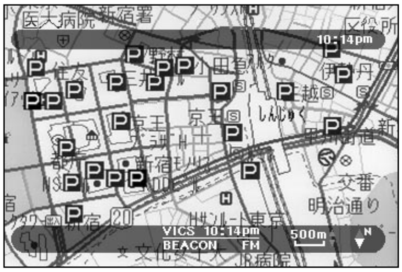
レベル 1（文字情報表示）
高速道路や一般道路のVICS情報を文字表示します。



レベル 2（図形情報表示）
交差点の道案内標識のようなパターン化された図形でVICS情報を表示します。
高速道路での各インターチェンジ間の所要時間などを図で示すこともできます。



レベル 3（地図情報表示）
カーナビゲーションシステムの地図画面上にVICS情報を重ねて表示します。
画面上には、情報の提供時間とメディアのシンボルが表示されます。
現在の走行地点と渋滞状況などが一目でわかります。
渋滞：赤色のライン
混雑：燈色のライン
渋滞なし：緑色のライン
不明：グレイのライン
渋滞方向：それぞれのラインに矢印で表示
駐車場、SA/PA (サービスエリア/パーキングエリア) 情報、事故/規制などの情報は、それぞれアイコンで表示されます。表示されたアイコンにカーソルを合わせて決定ボタンを押すとさらに詳細な情報を文字で表示します。



NVA-VB1を接続していると

別売りのビーコンユニットNVA-VB1を接続すると、本機のみのVICS機能に加えて以下の機能が利用できます。
追加機能を有効にするには、ルートメニューの「探索条件設定」画面の「VICS使用」を「する」に設定し、「探索モード」を選択します。（詳しくは、18ページをご覧ください。）

渋滞回避リルート機能（探索モード「渋滞回避」）
VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信し、ルート上に渋滞や道路規制などがあった場合、それらを回避するリルートを行います。
リルートされたときは、「ルートが変わりました」と音声ガイドされます。

NVA-VB1接続時の初期設定について

NVA-VB1を接続しているときは、VICS設定画面（51ページ）に、以下の項目が追加されます。

ポップアップ設定

「全て」：文字、図形情報をポップアップ
「図形のみ」：図形情報のみをポップアップ
「OFF」：ポップアップしない。

ポップアップ時間

ポップアップの表示時間を設定します。

情報取得時のチャイム

VICS情報を取得したときのチャイム設定

車種設定

使用車種の設定

ビーコン情報を消す

一時ビーコンの情報を消去し、地図画面上でFM情報を確認できます。新しいビーコンの情報を受信すると、再びビーコンの表示に戻ります。

ご注意

ルートガイド中は交差点拡大図の表示が優先され、ビーコン図形情報が表示されない場合があります。

VICSに関するお問い合わせ

VICSの概念・計画 表示内容	（財）VICSセンター TEL (03) 3592-2033（東京） TEL (06) 209-2033（大阪） 電話受付期間 9:30〜17:45 (土日、祝祭日は除く） FAX (03) 3592-5494 (24時間受付）
表示内容（レベル3） サービスエリア 受信可否 車載機の調子、 機能、使いかた	ソニーご相談窓口 （付属の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。）

VICSの運用時間

FM多重	朝6:00〜翌朝1:00
ビーコン	24時間

VICS情報の受信上のご注意

電波ビーコンや光ビーコンの特性上、次のようなことがありますが、故障ではありません。

- 高速道路付近の一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信することがあります。
- 一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信することがあります。
- トンネルの中では、VICS情報を受信しないことがあります。
- 大型車と並走していたり、大型車を追い越したときに、VICS情報を受信しないことがあります。
- 幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しないことがあります。

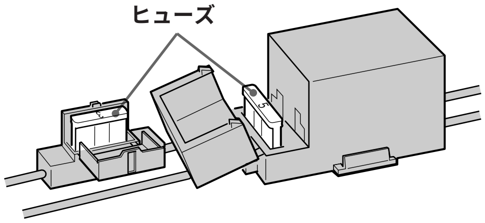
ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

リモコンやモニターなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量 (アンペア数) のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



GPSアンテナ

- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器をGPSアンテナの近くに置かないでください。

地図ディスクプレーヤー

水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

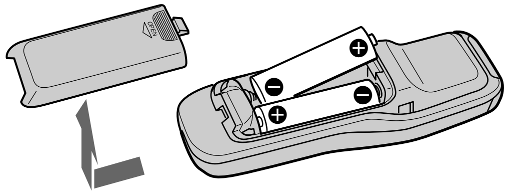
内蔵のリチウム電池について

地点、マークなどのメモリーは、本体内蔵のリチウム電池で保持しています。リチウム電池の寿命は使用状態で異なりますが、約4〜5年です。リチウム電池の交換については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

リモコン

電池の入れかた

単3形乾電池2本 (付属) を＋と－を正しく入れる。



乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロールの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

リモコンの操作ボタンを押したときにLEDが点滅しなくなった場合は、電池の寿命です。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

その他

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

メッセージが出たら

●内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「あと××個のマークがつけられます。」	マーク用のメモリーが残り少ないときに、マークをつけた。	–
「温度保護回路がはたらきました。」	地図ディスクプレーヤーの温度が上昇した。	温度が下がるまで本機の電源を切ってお待ちください。
「現在地付近の地図がありません。」	お使いになっている地図ディスクに収録されていない地域に自車の現在地がある。	自車の現在地の収録されている地図ディスクをお使いください。
「この縮尺はありません。自動変更します。」	• お使いになっている地図ディスクに収録されていない縮尺の地図を選んだ。 • 地図が自動スクロールして、それまでの縮尺の地図がない地域になった。	本機は自動的に地図の縮尺を変更し、広域な地図を選んで表示します。
「システムエラー　リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの⏏ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「指定された最寄りランドマークを表示することができません。」	メモリーが足りない。	一度電源を切るか、場所を変えてもう一度最寄り表示を行ってください。
「指定されたランドマークが周辺にありません。」	指定したランドマークが周辺にない。	カーソル位置を移動して改めて「最寄り表示」操作をしてください。㉛
「設定した自宅の地図がありません。」	設定したときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	設定されている自宅、経由地、目的地が収録されている地図ディスクをお使いください。
「地点を設定した地域の地図がありません。」	• 緯度/経度が正しい数値で入力されていない。 • 入力された緯度/経度の地域が収録されていない地図ディスクを使用している。	• 正しい数値を入力してください。㊱ • 入力された緯度/経度の地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「ディスクを入れてください。」	地図ディスクプレーヤーにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。❾

メッセージ	原因	処置
「ディスクエラー」	• ディスクを裏返しに入れたときや、ディスクが汚れている。 • 結露した。	• ディスクの表裏を確認して入れてください。汚れている場合は、別売りのクリーニングクロスなどでディスクをきれいにしてください。➐➍ • ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。➐➍
「ディスクフォーマットエラー」	ナビゲーションシステム研究会統一規格以外のディスクを入れた。	ナビゲーションシステム研究会統一規格のディスクをお使いください。
「ディスクを取り出して、リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの⏏ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「マークをつけた地域の地図がありません。」	マークをつけたときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	マークをつけた地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マーク250個すべてつけました。」	地図にマークを250個つけた。	250個以上のマークはつけられません。
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには、不要なマークを消去してください。」	地図にマークが250個ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。➍➌
「ルートを設定してください。」	ルートが設定されていないときに、ルートガイド「開始」を選択した。	ルートを設定してください。⓱
「GPSデータエラー」	本機は、GPS衛星の軌道データを常に本体にメモリーしておくことで、測位スピードを速めているが、その軌道データのメモリーが何らかの原因で消えてしまい測位できない。	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、このメッセージが何度も出る場合は修理が必要です。それ以外の場合には、見晴らしの良いところで本機を動作させて約20分ほどすると測位できます。
「システムエラーが発生しました。お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。」	本機に何らかの異常が発生した。	本機をお買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちください。
「システムエラーが発生しました。リセットボタンを押してください。」	本機に何らかの異常が発生した。	地図ディスクプレーヤーのリセットボタンを押してください。

故障かな？と思ったら

●のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	• 障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。→見晴らしの良い場所に移動してください。 • 受信可能なGPS衛星の数が少ない。→システムメニューの「情報」から「測位情報」を選び、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。㊽ • GPSアンテナの取り付け場所が悪い。→なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。) • GPSアンテナと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→アンテナケーブルのコネクターを確実に (カチッと音がするまで) 地図ディスクプレーヤーに接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
経由地や目的地に近づいても、アラーム音が鳴らない。	• 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。→設定を「ON」にしてください。 •「システムの設定」をご覧ください。㊿
経由地や目的地に近づいても、音声案内が聞こえない。	• 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。→設定を「ON」にしてください。㊿ • ご使用のモニターの音量が最小になっている。→ご使用のモニターの音量調節で適当な音量にしてください。 •「システムの設定」をご覧ください。㊿ •「道案内をさせる」をご覧ください。⑩
〝詳細地図〟が表示されない。	• 地図ディスクに〝詳細地図〟のデータが入っていない。→〝詳細地図〟の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。 • ナビ研S規格以外の地図ディスクを使用している。→〝詳細地図〟の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。
推奨ルートが表示されない。	• ルート探索の結果がない。→ルート探索を行ってください。⑰ • 〝詳細地図〟を表示している。→広域地図を表示してください。⑫ • ルートガイドが「OFF」になっている。→ルートメニューで「ガイド開始」を選択してください。㉗
自車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	• GPS衛星からの電波の誤差が大きい。(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。) ㊽ • 自律航法/マップマッチングの誤差が生じている。→しばらく走行すると正しい測位をします。㊽
マップマッチングが働かない。	マップマッチングに対応した道路データが収録された地図ディスクを使用していない。→マップマッチングに対応した地図ディスクを使用する。㉚
モニターに何も表示しない。	ご使用のモニターと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→モニターと地図ディスクプレーヤーを確実に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
メニューが表示されない。	安全のため、走行中は走行メニューのみ表示されます。 パーキングブレーキを引いて車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。

症状	原因および処置
リモコンのボタンを押しても反応しない。	• リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。→リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池が消耗している。→乾電池を交換してください。78
IISなどの音声が出ない。	モニターの音量が最小になっている。→ご使用のモニターの音量調節で適切な音量にしてください。
本機が動作しない。	地図ディスクプレーヤーのリセットボタンを押してください。
音声入力ボタンを押して発話しても、認識されない。	音声入力ボタンのコネクターが正しく接続されていない。→正しく接続してください。
音声認識が良くない。	• マイクの指向性が鋭いため、取り付け位置や向きが良くないときは音声をうまく認識できない。→マイクを正しく取り付けてください。 • カーステレオの音や車外の雑音を音声として認識している。→カーステレオの音量を下げ、窓は閉めて使用してください。 • 発声のしかたでも認識率は変わります。はっきりと発音してください。
音声認識が、まったく動作しない。	音声入力ボタンを押してマイクに向かって発話してもLEVELランプが点滅しない場合は、接続が正しくない。→別冊の「取り付けと接続」をご覧になり、正しく接続してください。
音声認識をしても、応答の音声が聞こえない。	スピーカーの音量が最小になっている。→ナビシステムの音量を調整してください。
新しい地図ディスクを使用しても、音声認識が新しい地名を受け付けない。	地図ディスクプレーヤー内部のデータベースにない地名を指定した。→別冊の「認識語一覧」に記載されている地名以外は呼び出せません。
音声認識に時間がかかる。	音声入力ボタンを押しながら発話した時間に比例して、処理時間が長くかかります。反応の時間が長くても、異常ではありません。やや早口で、はっきりと発音すると、反応時間も短く、認識率も良くなります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

その他

主な仕様

本体（地図ディスクプレーヤー部、GPSレシーバー部、グラフィックコントロール部）

動作温度	−10℃〜＋50℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	約1.2A

GPSレシーバー

受信周波数	1,575.42MHz（C/Aコード）
受信感度	−130dBm
測位更新時間	約1秒

FM受信器部

地図ディスクプレーヤー部

	ナビゲーションシステム研究会統一フォーマット
入力端子	GPSアンテナ接続端子
出力端子	モニター接続端子（20ピン）

GPSアンテナ

動作温度範囲	−30℃〜＋75℃
防水方式	防噴流仕様
	マイクロストリップ平面アンテナ

自律航法ユニット (内蔵)

検出方式	圧電振動ジャイロ

外形寸法（幅×高さ×奥行き）

本体	約249×51×176mm（突起部含まず）
リモコン	約40×28×128mm
GPSアンテナ	約50×15×52mm

質量

本体	約2.5kg
リモコン	約100g (乾電池含む)
GPSアンテナ	約100g

音声認識部

方式	統計的音声認識方式

総認識語彙数

	約14万語、不特定話者認識
入力端子	マイク端子（専用マイク用）
	音声入力スイッチ端子
出力端子	マイク出力端子

マイク

形式	エレクトレットコンデンサー型アレイマイク
	車載、サンバイザー取り付けタイプ（テープレコーダー等に使用不可）
指向特性	単一指向性
寸法	156×15×15mm
	（幅/奥行き/高さ）
	（突起部を含まず）
質量	約20g（ケーブルを含まず）

音声入力ボタン

寸法	直径24×高さ12mm
	（突起部を含まず）
質量	約5g（ケーブルを含まず）

付属品

リモコン（ワイヤレス）
GPSアンテナ
地図ディスク（一式）
取り付け／接続部品（一式）
取扱説明書（一式）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）
FMアンテナ分配器
他社モニター接続ケーブル
コネクションBOX
アレイマイク
音声入力ボタン
認識語一覧
PDCインターネットユニット NVA-W1C

別売り品

VICS対応ビーコンユニット　NVA-VB1
モービルカラーTV　XTL-770W
XTL接続コード
　RC-302（XTL-770W用）
　RC-303（XTL-750W/610/510用）
接続コード（ビーコンユニット用）　RC-131
音声入力スイッチ用延長ケーブル
　VK-830（3m）
　マイク用延長ケーブル
　RK-G131（3m）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

用語集

実際の操作などに関して、詳しくは●内のページをご覧ください。

自律航法について ㊾

GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、自律センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。
正確な測位のためには、車速センサーおよびバックセンサーを正しく取り付ける必要があります。詳しくは「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

マップマッチング ㊽

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。
この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

GPS (Global Positioning System) ㊽

このシステムはGPS衛星 (人工衛星) から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地 (緯度・経度・高度)を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

時計表示

GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

測位 (Positioning) ㊽

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

軌跡 ㊼

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印 (点) です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント (点表示) の軌跡を表示します。
(本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。)

IIS (Integrated Information Services) ㊲

ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた、ドライブ情報提供プログラムのことです。
IISのドライブ情報の内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますが、どの地図ディスクをお使いになっても、同じ操作でIISのドライブ情報を見ることができます。(IISが収録されていない地図ディスクもあります。詳しくは、地図ディスクのカタログや取扱説明書をご覧ください。)

合成音声

本機では「規則音声合成方式」によって音声を合成し、出力しています。
これは、ひらがな1文字にあたる短い音声信号を、言葉に合わせて順々につないでいく方法です。声の抑揚や話す速度も、その言葉に最も合うように自動的に作成し、音声を合成していきます。
従来のように録音した音声を再生する方式と違い、地図ディスクに収録されているほとんどの地名や交差点名を読み上げたり、目的地までの距離や現在の時刻を声でお知らせしたりすることができます。

VICS (Vehicle Information and Communication System) ㊿51

VICSとは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムです。

DGPS機能 ㊿

GPS衛星からの信号に加え、(株) 衛星測位情報センターがFM多重放送を使って提供するGPS補正データを受信し、測位精度を向上させる機能です。また、自動サーチにより常に受信状態の良い周波数を選局します。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

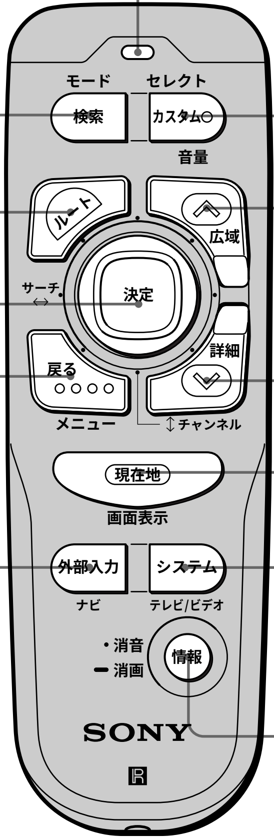
アルファベット

その他

各ボタンの使いかた

リモコン

詳しくは、(　) 内のページをご覧ください。



LED (78)
操作ボタンを押すと点滅します。電池が消耗すると、点滅しなくなります。

検索ボタン (31)
押すと、検索メニューになります。

カスタムボタン (53)
よく使うメニュー項目を登録し、まとめて表示します。

ルートボタン (22)
押すとルートメニューになります。

カーソル/決定ボタン (10、17)
任意の方向に押して地図画面の＋マークやメニュー画面の選択位置を移動します。選択を決定するには、ボタンを押します。

ズームボタン (12)
地図の縮尺を拡大、縮小します。

「戻る」ボタン
押すと、各メニュー画面に戻ります。

現在地ボタン (8)
押すと、どの画面からでも現在地の地図画面になります。

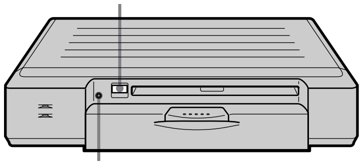
外部入力ボタン
テレビやビデオを見るとき押します。別売りモービルカラーテレビXTL-770Wを接続した場合は、リモコンをテレビ操作用（各ボタンの下に表示された機能）にすることができます。

システムボタン (42)
押すと、システムメニュー画面になります。外部入力時は、テレビ／ビデオを切り換えます。

情報ボタン (38)
押すと、情報メニュー画面になります。

ディスクプレーヤー

⏏ボタン
地図ディスクを取り出します。



リセットボタン
初めてお使いのときに、エンジンをかけてからボールペンの先などで押して、電源を入れます。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan

I-3-861-271-03 (1)